取扱説明書

SANYO

液晶プロジェクター

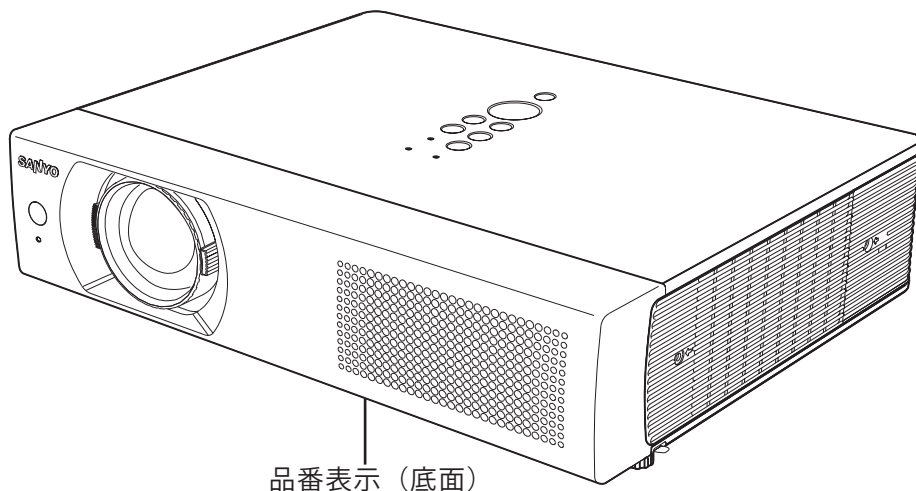
品番 LP-XU115

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに 4 ～ 11 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、必ずいつでも取り出せるところに保管してください。わからないことがあったときにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は底面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

ネットワーク対応

- ❒ 無線 LAN
  IEEE802.11b/g
- ❒ 有線 LAN
  100-Base-TX/10-Base-T
- ❒ メモリービューワー※

※ 市販の SD メモリーカードが必要です。

品番表示（底面）

取扱説明書について：
本機のネットワーク機能およびメモリービューワー機能の操作については、次の別冊の取扱説明書をご覧ください。
■取扱説明書（別冊）
ネットワークの接続と操作のしかた［Windows 版 / Macintosh 版］
Memory viewer（メモリービューワー）の使いかた
PJ Network Manager (SNMP マネージャーソフトウェア) ［Windows 版］

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

PJLink™

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XU115 の特長

高　精　細

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル。

- XGA 画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGA を圧縮表示。

DVI-I（デジタル ビジュアル インターフェイス）搭載。

- DVI-I（デジタル ビジュアル インターフェイス）入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像の再生、投映が可能。

海外の映像システムにも対応する６カラーシステム。

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N の６カラーシステムに対応。

高　設　置　性

さまざまな設置環境に対応。

- 垂直方向 360 度フリー設置可能。（11 ページ参照）
- 据置のほか、天吊り、リア投映が可能。

小型軽量（3.6kg）で持ち運びに便利。

- 小型かつ軽量で持ち運びに便利。

使用後すぐに持ち運び可能なイージーオフ機能。

- 電源オフ後、ファンの停止を待たずに電源コードを抜ける。

アンプ・スピーカを内蔵。

- 音響施設がない出先でもプレゼンテーションが可能。

音声出力端子（可変）を装備。

- 投映中の画像の音声を出力。

高　信　頼　性

暗証番号を登録してセキュリティを強化。

- 第三者による不正・誤使用を防ぐ「暗証番号ロック」機能。
- 第三者によるロゴの変更を防ぐ「ロゴ暗証番号ロック」機能。

電力の節約を助ける各種機能。

- ランプの明るさを調節できる「ランプモード」。
- 電力の節約を助ける「パワーマネージメントモード」。

機器の高寿命化を助ける各種機能。

- ランプの交換時期を画面とインジケータでお知らせ。
- フィルターの掃除時期を画面とインジケータでお知らせ。

高　機　能

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能。

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン（台形補正）」機能。
- 「自動 PC 調整」と「デジタルキーストーン」をワンタッチで実行する「オートセットアップ」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。（コンピュータ モード時）
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能。
- 画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER（プレゼンテーション タイマー）」機能。
- スクリーンがなくても、黒（緑）板に投映して通常のスクリーンに投映したときの色合いを再現できる「黒（緑）板」モード。
- 好きな画像を取り込んでオリジナルの起動画面を作成できる「キャプチャー」機能。

メモリービューワー

- SD メモリーカード（市販品）を差し込むだけで、SD メモリーカードに収録されているプレゼンテーション画像、写真データの投映が可能。これにより、画像を投映する機器を持ち運ぶことなくプレゼンテーションが可能。
- 付属のアプリケーションで効果的なプレゼンテーション画像の編集が可能。
  ※ 詳細は別冊の取扱説明書をご覧ください。

有線・無線 LAN 機能

- 付属のアプリケーションを使うことにより、コンピュータ画像をネットワーク経由でリアルに投映。
- ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理が可能。

高機能ワイヤレスリモコン

- コンピュ−タとプロジェクターの両方を操作可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザポインタ機能。
- レーザポインタをスポットライトやポインタ表示に切り換え可能。
- 別売のリモコン接続ケーブルでワイヤードリモコンとして使用可能。

～本説明書中の記号について～	
	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
［ボタン］名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子操作パネルのボタン名称を示しています。 例：［SELECT］ボタン、［COMPUTER IN］端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「インプット」、「セッティング」

※　本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

※ ネットワーク機能とメモリービューワーの使い方は、別冊の取扱説明書をご参照ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

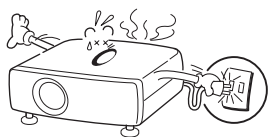
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ 注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

■絵表示の例

△	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
⃠	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
●	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告

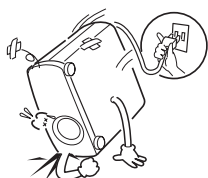
警　告

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

禁　止

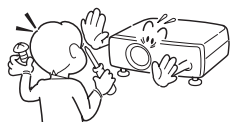
故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。
※ 一つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。

禁　止

水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

※ こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

風呂、シャワー室での使用禁止

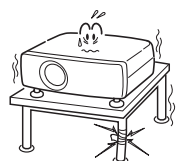
風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

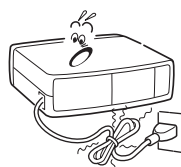
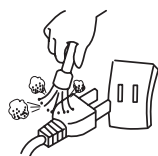
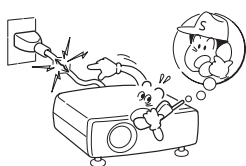
禁　止

不安定な場所や、荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いたところ、高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因になります。

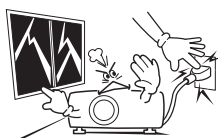
警　告

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分の時は落下する危険性があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

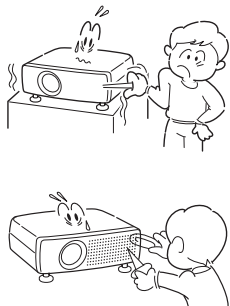
禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。また、コードを敷物で覆うとコードに気付かず、上に重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意ください）
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警告

禁　止

吸気口・排気口にご注意下さい。

・ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
・本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
・本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

禁　止

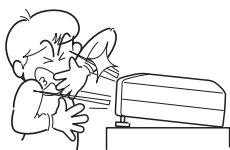
本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

アース線を接続せよ

アース線を接地してください

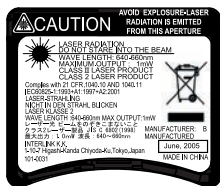
本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、24 ページをご覧ください。）

警　告

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

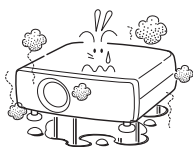
警　告

レーザ光にご注意ください。

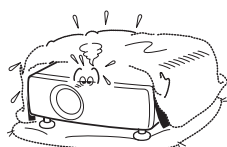
リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

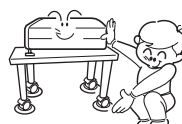
⚠ 注 意

禁　止

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

禁　止

ご使用のときは、ファンの吸気口・排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
● 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。
● 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。
● 次のような使い方はしないでください。
　・ 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
　・ 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
　・ じゅうたんや布団の上に置く。
　・ テーブルクロスなどを掛ける。
● また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

注　意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

⚠ 注 意

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合には、電源コードにご注意ください。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

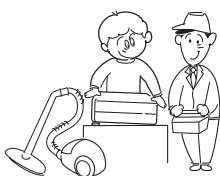
お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

注 意

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップを付け、調整脚を元に戻し、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。別売の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

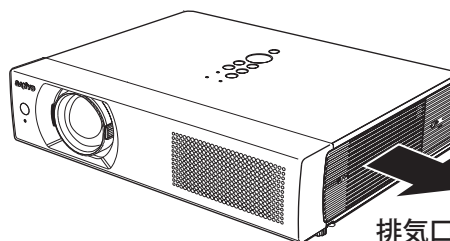
● 付属キャリーバッグ使用上の注意 ●
付属のキャリーバッグは、液晶プロジェクターを持ち運ぶ際のホコリ等による汚れ防止と、キャビネット表面保護のためのものです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶときには、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。（液晶プロジェクターを付属のキャリーバッグへ入れるときは、レンズ部分が上にくるように入れてください。）

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

注　意

- スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- 観葉植物やペットを置かないでください。
- 熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- 排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部キャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

排気口

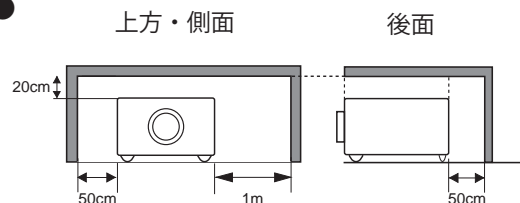
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 35℃	保管温度範囲	－ 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方 20cm、側面・後面 50cm、排気口 1m 以上）

上方・側面　後面
20cm
50cm　1m　50cm

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 69 ページをご覧ください。

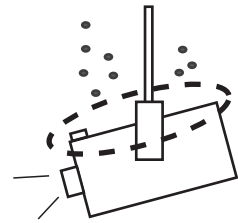
お掃除時期をお知らせする「フィルター警告」

本機にはフィルターの掃除時期をお知らせする「フィルター警告」機能があります。設定した時間を越えると、フィルターの掃除をお知らせする表示（下図）があらわれます。
設定方法については、63 ページをご覧ください。

フィルター警告

天井から吊り下げてご使用になる場合

注　意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターは、正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。

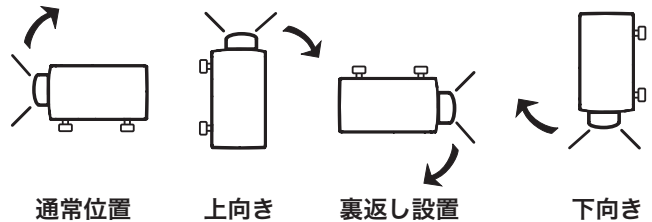
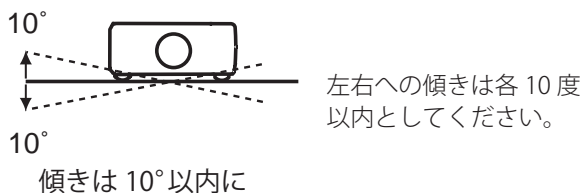
プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。
指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。
プロジェクターは上方向、下方向、斜めと、360 度の範囲で投映可能です。右図と下図の指定の範囲内でご使用ください。

通常位置　上向き　裏返し設置　下向き

以下の方向では使用しないでください

10°
10°
傾きは 10° 以内に

左右への傾きは各 10 度以内としてください。

10°　10°

プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて上方向に投映しないでください。

横置き禁止

横に立てて設置して投映しないでください。

10°　10°

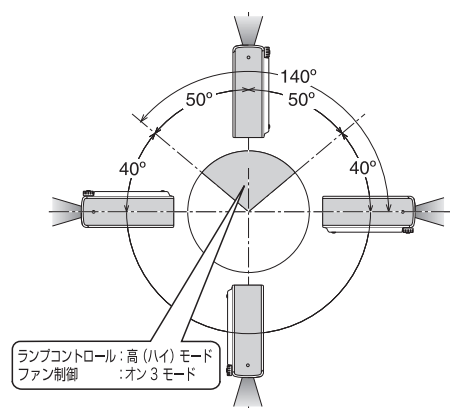
プロジェクターの水平軸を 10 度以上傾けて下方向に投映しないでください。

上向き方向でのランプコントロールとファン制御の設定

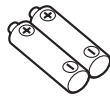
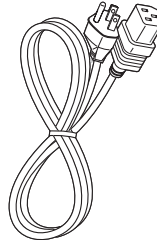
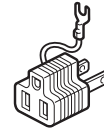
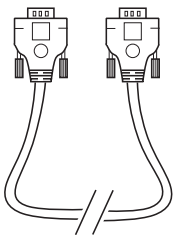
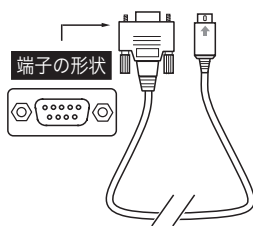
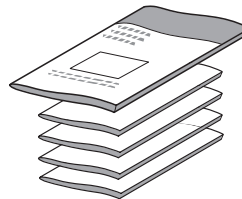
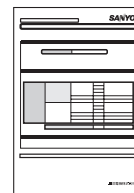
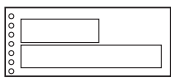
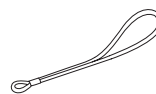
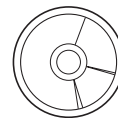
海抜約 1600m までの場所で、右図のようにプロジェクターを水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲で上向きに設置するときは、ランプの保全のために「セッティング」メニューの「ランプコントロール」

（☛ 57 ページ）を「高（ハイ）」モードに、「ファン制御」（☛ 61 ページ）を「オン 3」モードにしてください。

さらに高地で使用する場合は、設置角度にかかわらず、「ファン制御」を「オン 2」モードにして使用してください。

140°
50°　50°
40°　40°
ランプコントロール：高（ハイ）モード
ファン制御　　　　：オン 3 モード

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

1. リモコン（CXYA）
2. リモコン用アルカリ乾電池（単4形2本）
3. 電源コード
4. 電源プラグアダプタ
5. コンピュータケーブル（D-sub用）
6. シリアルコントロールケーブル（RS-232C用）
   端子の形状
7. 取扱説明書（本書＋別冊）
8. お客様ご相談窓口一覧
9. 保証書
10. レンズキャップ
11. レンズキャップ用ひも
12. CD-ROM（ネットワークアプリケーション）
13. キャリーバッグ
14. PIN code lock シール ※

※ 暗証番号を登録してプロジェクターをロックした場合には、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付けて、プロジェクターがロックされていることを表示するのにお使いください。（85ページ）

レンズキャップの取り付け

本機をお使いにならないときは、ホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップを付けてください。

1. レンズキャップの穴にひもを通します。
2. 本機の底面にある取付用ネジをはずします。ネジ穴にひもをのせ、ひもの上から取り外したネジを締めて、本機に取り付けます。

各部の名称

前　面

⑧ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

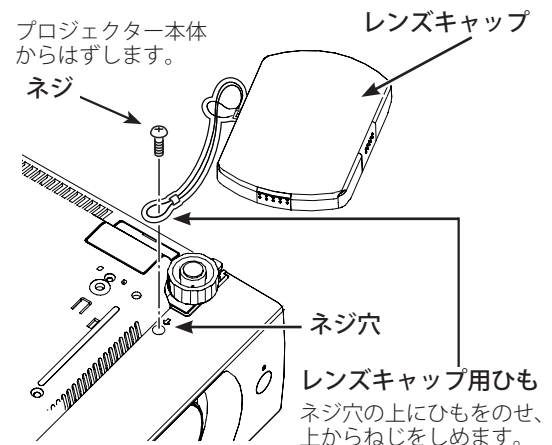
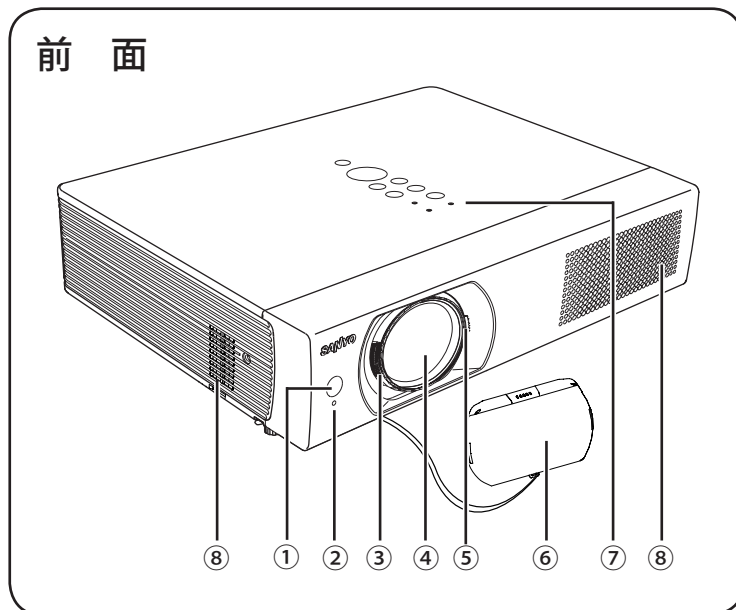
後　面

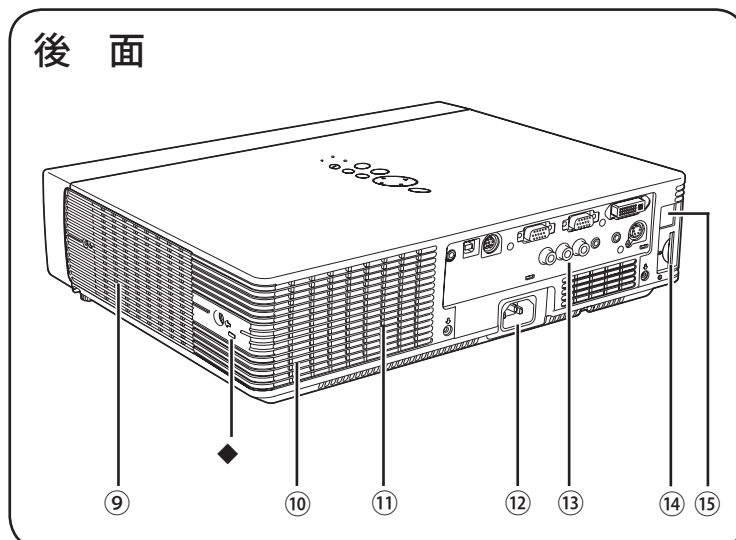
◆

⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

底　面

⑯ ⑰ ⑱

⑲

＜前面＞
① リモコン受信部
② WIRELESS インジケータ（※）
③ フォーカスレバー
④ レンズ
⑤ ズームレバー
⑥ レンズキャップ ＊1
⑦ 操作パネル・インジケータ
⑧ 吸気口 ＊2

＜後面＞
⑨ 排気口 ＊3
⑩ スピーカ
⑪ 吸気口 ＊2
⑫ 電源コード接続ソケット
⑬ 後面端子
⑭ SD メモリーカードスロット（※）
⑮ LAN 接続端子（※）

＜底面＞
⑯ ランプカバー
⑰ 吸気口 ＊2
⑱ エアフィルター
⑲ 調整脚・調整脚ロック

（※）②、⑭、⑮ は、ネットワーク機能およびメモリービューワー機能に関係します。別冊の取扱説明書をご参照ください。

◆ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

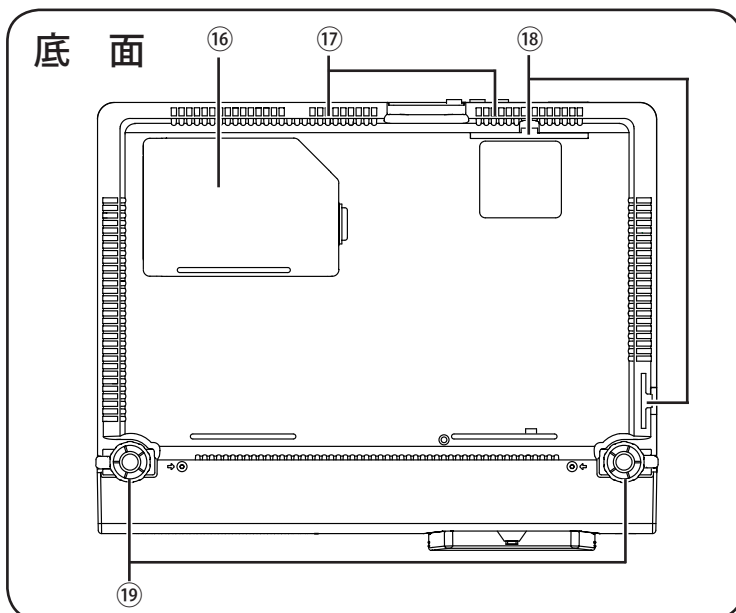
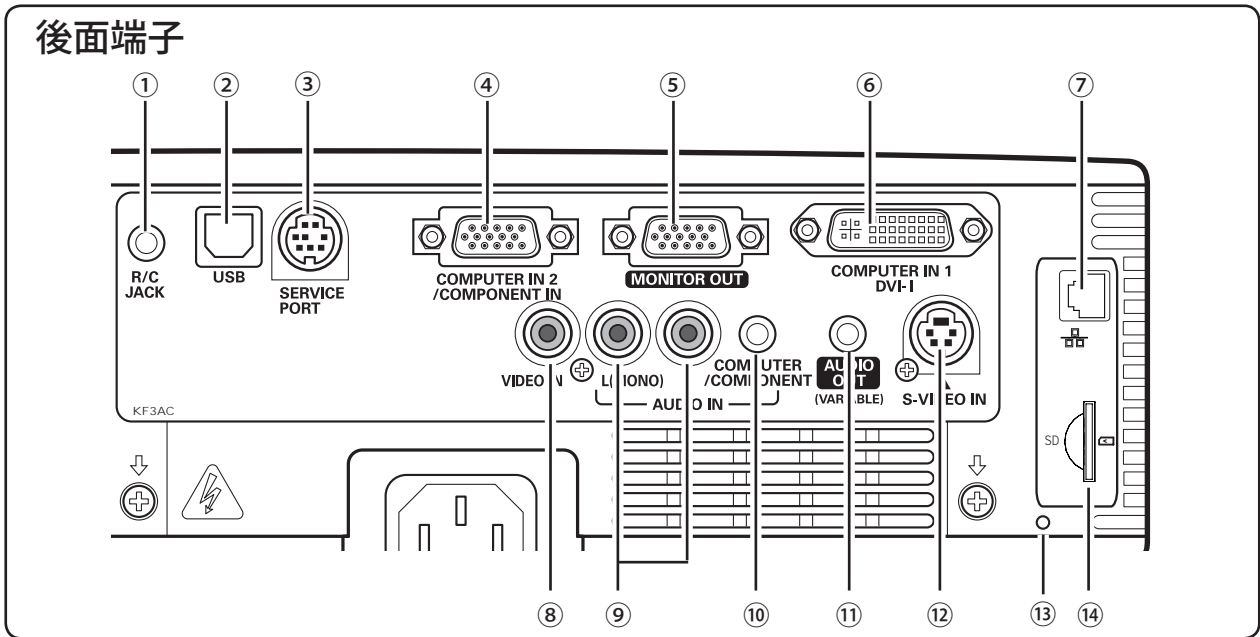
ご使用中、天面は熱くなります。
上にものを置いたりしないでください。
変形や火災の原因となります。

＊1
ランプ点灯中はレンズキャップを必ずはずしてください。レンズキャップを付けたまま点灯すると、レンズキャップが変形するおそれがあります。

＊2
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

＊3
スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

機器をつなぐ端子

後面端子

① **R / C JACK（ワイヤードリモコン端子）**
☛ 16 ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のリモコン接続ケーブルでつなぐとワイヤードリモコンになり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターを操作できます。なお、この端子にケーブルが接続されていると、ワイヤレスリモコンは働きません。

② **U S B（USB 端子：シリーズ B）** ☛ 21、65 ページ
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータの USB 端子を市販の USB ケーブルで繋ぎます。

③ **SERVICE PORT（サービス用端子）**
コンピュータからシリアルデータでプロジェクターを操作するときに使用します。また、サービスマンがサービス時に使用します。

④ **COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN**
（コンピュータ / コンポーネント入力端子）
☛ 21、23 ページ
コンピュータからの信号、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub 用）または別売の D-sub/ コンポーネントケーブル (※) を使用します。

⑤ **MONITOR OUT（モニター出力端子）** ☛ 21 ページ
コンピュータのモニター出力として使用します。
接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub 用）を使用します。

⑥ **COMPUTER IN 1 D V I - I**
（コンピュータ DVI-I 入力端子） ☛ 21 ページ
DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル / アナログ）を接続する DVI-I 端子です。接続にはコンピュータケーブル（DVI-I 用）を使います。D-sub 出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続にはコンピュータケーブル（DVI/D-sub 用）を使用します。

⑦ **LAN 接続端子**
有線 LAN ケーブルを接続します。

⑧ **VIDEO IN（ビデオ入力端子）** ☛ 22 ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。

⑨ **AUDIO IN（音声入力端子）** ☛ 22 ページ
⑧または⑫に接続されたビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子へ接続してください。

⑩ **COMPUTER / COMPONENT AUDIO IN**
（コンピュータ / コンポーネント音声入力端子）
☛ 21、23 ページ
④または⑥に接続された、コンピュータまたはビデオ機器（コンポーネント）からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

⑪ **AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）**
☛ 21 ～ 23 ページ
⑨または⑩に接続された投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を、外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

⑫ **S -VIDEO IN（S 映像入力端子）** ☛ 22 ページ
ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

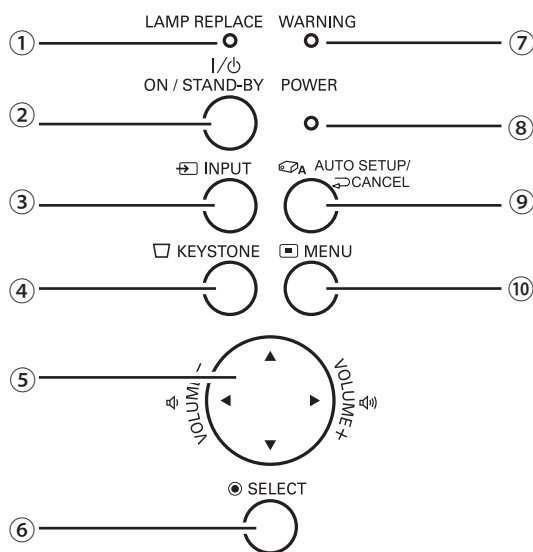
⑬ **S D メモリーカードインジケータ**
⑭の SD メモリーカードスロットに SD メモリーカードがきちんと差し込まれているときに点灯します。

⑭ **S D メモリーカードスロット**
メモリービューワー機能を使用するときに SD メモリーカード（市販品）を差し込みます。

※ 別売の D-sub/ コンポーネントケーブルの 3 ピン部分は、メスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。（☛ 23 ページ）

操作パネルとインジケータ

操作パネル
と
インジケータ
（本体上面）

① LAMP REPLACE
⑦ WARNING
② I/⏻ ON / STAND-BY
⑧ POWER
③ INPUT
⑨ AUTO SETUP/ CANCEL
④ KEYSTONE
⑩ MENU
⑤ VOLUME– VOLUME+
⑥ SELECT

① **LAMP REPLACE インジケータ**（ランプ リプレース）
☛ 62、67 ページ
ランプの交換時期を知らせます。

② **I/⏻（ON / STAND-BY）ボタン**（オン スタンバイ）
☛ 25、27 ページ
プロジェクター本体の電源を入・切します。

③ **INPUT ボタン**（インプット） ☛ 33、43 ページ
インプット（入力）を切り換えます。

④ **KEYSTONE ボタン**（キーストーン） ☛ 28 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑤ **ポイント / VOLUME ボタン**（ボリューム）
☛ 30、31、41、42 ページ
オンスクリーンメニューでのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。

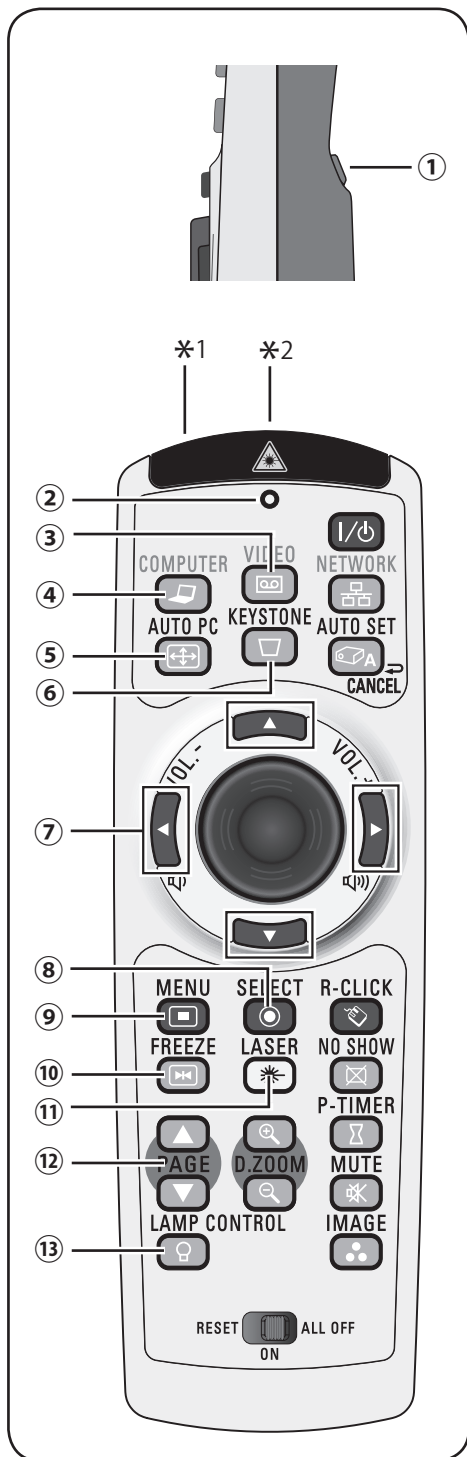
⑥ **SELECT ボタン**（セレクト） ☛ 31、42 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑦ **WARNING インジケータ**（ワーニング） ☛ 70、71 ページ
赤く点滅して、内部の温度が高くなっていることを知らせます。また、赤く点灯して、プロジェクター内部に異常が発生していることを知らせます。

⑧ **POWER インジケータ**（パワー） ☛ 70、71 ページ
プロジェクターの状態を示します。
点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：ランプを冷却しています。
点灯（緑）：プロジェクターが正常に動作しています。
点滅（緑）：パワーマネージメントモードが働いています。

⑨ **AUTO SETUP / CANCEL ボタン**（オート セットアップ / キャンセル） ☛ 28、51 ページ
PC 調整、キーストーンを自動調整、自動補正します。SD メモリーカードに保存されている画像を表示したり、メモリービューワーメニューでメニューバーに戻るときに使用します。詳細は別冊の取扱説明書をご参照ください。

⑩ **MENU ボタン**（メニュー） ☛ 31、32 ページ
メニューバーを出します。

リモコンのボタン - 1

残りのボタンは次ページへ

① **左クリックボタン** 65 ページ
コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

② **レーザポインタインジケータ** 66 ページ
レーザポインタ（レーザ光）が出ているとき、またはプロジェクターへ信号を送信しているときに赤く点灯します。

③ **VIDEO ボタン** 43 ページ
入力をビデオに切り換えます。

④ **COMPUTER ボタン** 33 ページ
入力をコンピュータに切り換えます。

⑤ **AUTO P C ボタン** 35 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

⑥ **KYESTONE ボタン** 28 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑦ **POINT（VOLUME +/-）ボタン** 30、31、41、42 ページ
オンスクリーンメニューでのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。

⑧ **SELECT ボタン** 31、42 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム モードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑨ **MENU ボタン** 31、32 ページ
メニューバーを出します。

⑩ **FREEZE ボタン** 29 ページ
画面を一時的に静止させます。

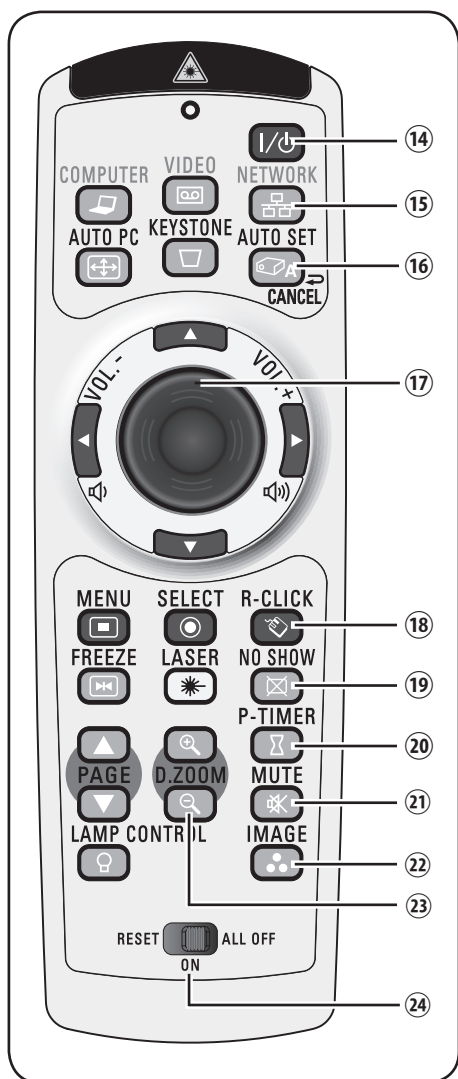
⑪ **LASER ボタン** 66 ページ
レーザポインタ（レーザ光）を出します。また、ポインタ機能のオン・オフの切り換えスイッチとしても使用します。

⑫ **PAGE ボタン** 65 ページ
リモコンをコンピュータのマウスとして使用するとき、ページを送る働きをします。▲で前のページへ、▼で次のページへ送ります。この機能を使うときは、プロジェクターとコンピュータを市販の USB ケーブルでつなぎます。

⑬ **LAMP CONTROL ボタン** 57 ページ
ランプモードを選択します。

＊1 **レーザポインタ発光部**
［LASER］ボタンを押したとき、レーザポインタ（レーザ光）が出ます。

＊2 **ワイヤードリモコン端子**
ワイヤードリモコンとして使用する場合には、別売のリモコンケーブルで、この端子とプロジェクター本体のリモコン端子［R/C JACK］を接続します。
※ リモコンに電池が必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。

リモコンのボタン - 2

⑭ **I/⏻（ON/STAND-BY）ボタン** 25、27 ページ
電源を入・切します。

⑮ **NETWORK ボタン**
「Wired」または「Wireless」に切り換えます。
詳細は別冊の取扱説明書をご参照ください。

⑯ **AUTO SET/CANCEL ボタン** 28、51 ページ
PC 調整、キーストーンを自動調整、自動補正します。
また、SD メモリーカードに保存されている画像を表示したり、メモリービューワーメニューでメニューバー表示に戻るときに使用します。詳細は別冊の取扱説明書をご参照ください。

⑰ **プレゼンテーションボタン** 65、66 ページ
リモコンをコンピュータのマウスとして使用するとき、このボタンでマウスポインタを操作します。

⑱ **R-CLICK（右クリック）ボタン** 65 ページ
コンピュータマウスの右クリックの働きをします。

⑲ **NO SHOW ボタン** 29 ページ
画面を一時的に消します。

⑳ **P-TIMER ボタン** 29 ページ
このボタンを押してから経過した時間を表示させます。

㉑ **MUTE ボタン** 30 ページ
音声を一時的に消します。

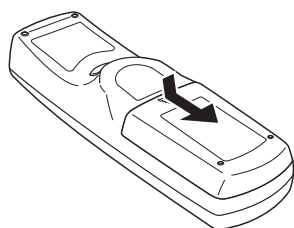
㉒ **IMAGE ボタン** 38、45 ページ
イメージモードを選択します。

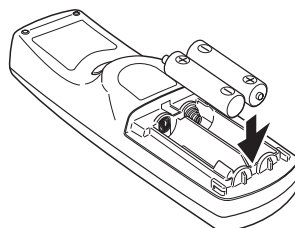
㉓ **D.ZOOM ボタン** 42 ページ
デジタルズームの操作に使用します。

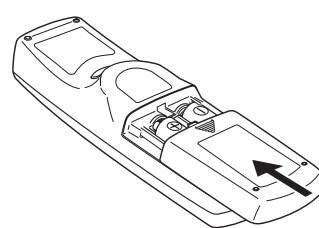
㉔ **RESET / ON / ALL OFF スイッチ**
リモコンを長時間使用しないときは「ALL OFF」側にしてください。
リモコンコードを初期設定に戻すときは「RESET」側に切り換えます。

リモコンの準備

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

押しながら下にスライドさせます。

2 電池を入れます。

＋（プラス）、ー（マイナス）に注意して付属の乾電池（単４形アルカリ乾電池２本）を入れます。

3 電池カバーを閉めます。

上にスライドさせます。

※ 電池を入れ換えたときはリモコンコードを再設定してください。

電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

- 種類のちがうものや、新しいものと古いものを混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- ＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

注 意　禁 止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約 5 m 以内、上下左右 30 度以内です。

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

上下左右各 30° 以内の操作範囲

30°

5 m

30°

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

警 告

リモコンのレーザポインタの発光部分をのぞき込んだり、人や鏡など反射するものに向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

CAUTION
AVOID EXPOSURE-LASER RADIATION IS EMITTED FROM THIS APERTURE
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO THE BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
INTERLINK K.K.
June, 2005
MADE IN CHINA

リモコンコードの設定

本機は 8 種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）を設定できます。複数のプロジェクターを使用するときにはリモコンコードを使い分けます。なお、リモコンコードを別のコードに変更する場合には、プロジェクター本体とリモコン本体の両方を同じコードに設定する必要があります。たとえば、プロジェクター本体を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体も「コード 2」に設定します。

※ プロジェクター本体のリモコンコードは、「セッティング」メニューで設定します。（☞ 58 ページ）

1 ［MENU］ボタンを押します。

2 ［MENU］ボタンを押したまま、［IMAGE］ボタンを押します。［IMAGE］ボタンを押す回数でコードが決まります。［MENU］ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り換わります。

リモコンコード	イメージボタンを押す回数
コード 1	**1**
コード 2	**2**
コード 3	**3**
コード 4	**4**
コード 5	**5**
コード 6	**6**
コード 7	**7**
コード 8	**8**

リモコン

MENU　SELECT　R-CLICK　FREEZE　LASER　NO SHOW　P-TIMER　PAGE　D.ZOOM　MUTE　LAMP CONTROL　IMAGE　RESET　ON　ALL OFF

［MENU］ボタン

［IMAGE］ボタン

※ 設定したリモコンコードを初期化したい場合には、リモコン下方にあるスイッチで［RESET］を選択し、その後［ON］に戻します。

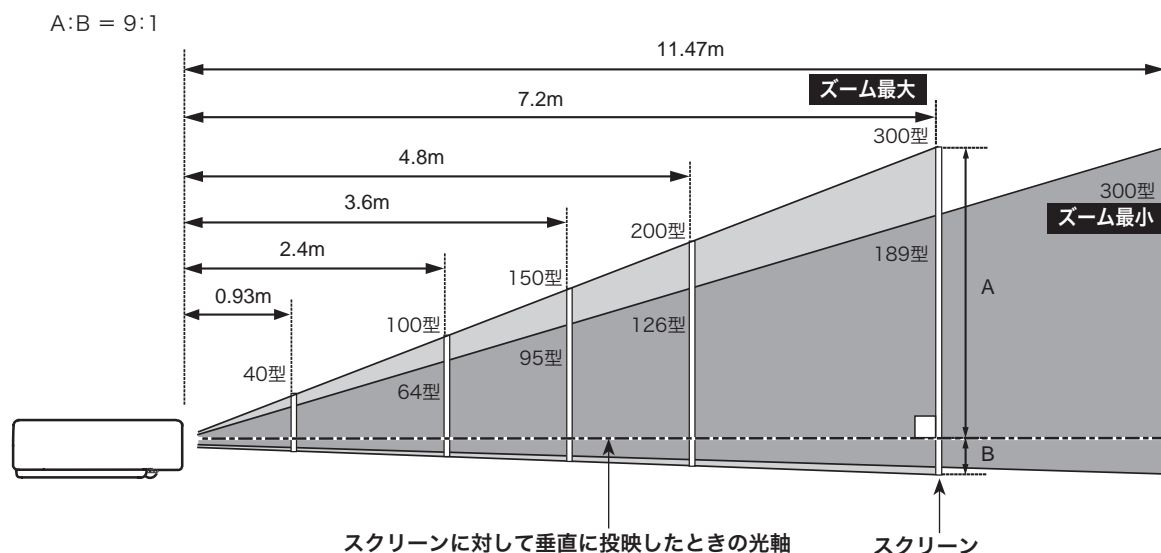
※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

※ 電池を交換したときはリモコンコードを再設定してください。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

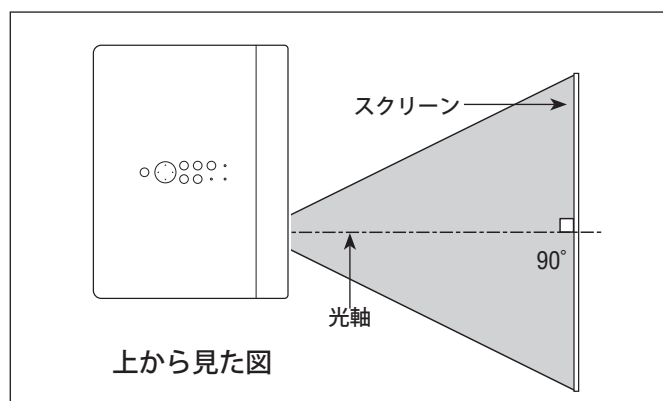
画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約 0.93 m ～ 11.47 m の範囲に設置してください。

A:B ＝ 9:1

画面サイズ（幅×高さ：mm）	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
	813 × 610	2032 × 1524	3048 × 2286	4064 × 3048	6096 × 4572
投映距離（ズーム最大）	0.93 m	2.4 m	3.6 m	4.8 m	7.2 m
投映距離（ズーム最小）	1.5 m	3.8 m	5.7 m	7.6 m	11.47 m

※上表は 4 ： 3 の画面サイズで、投映画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。
（☞ 41、42、49 ページ）

スクリーンに対して直角に設置する

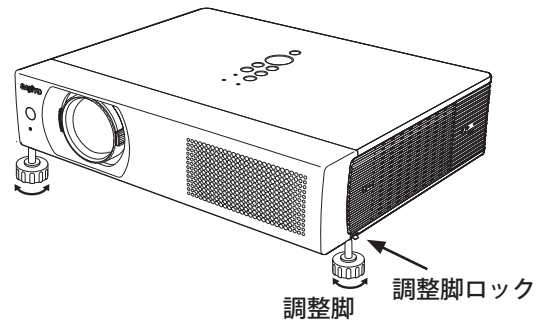
投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

上から見た図

投映画面の高さと傾きを調整する

1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

2 本体前方の２つの調整脚を回して投映画面の高さと傾きを微調整します。最大約９度まで上がります。

調整脚ロック

調整脚

注　意

左右方向の傾きは± 10 度以内に

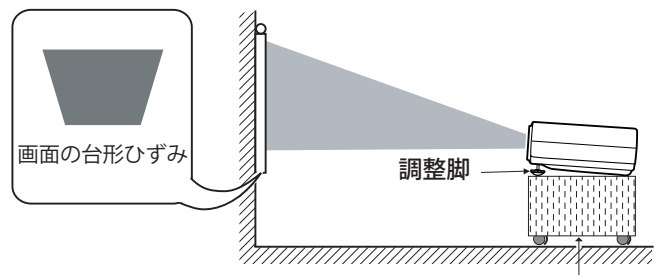
左右の傾きが± 10 度以内になるように投映してください。傾きが大きいとランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合には本体の設置台の高さを調節してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。（☛ 28 ページ）

画面の台形ひずみ

調整脚

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

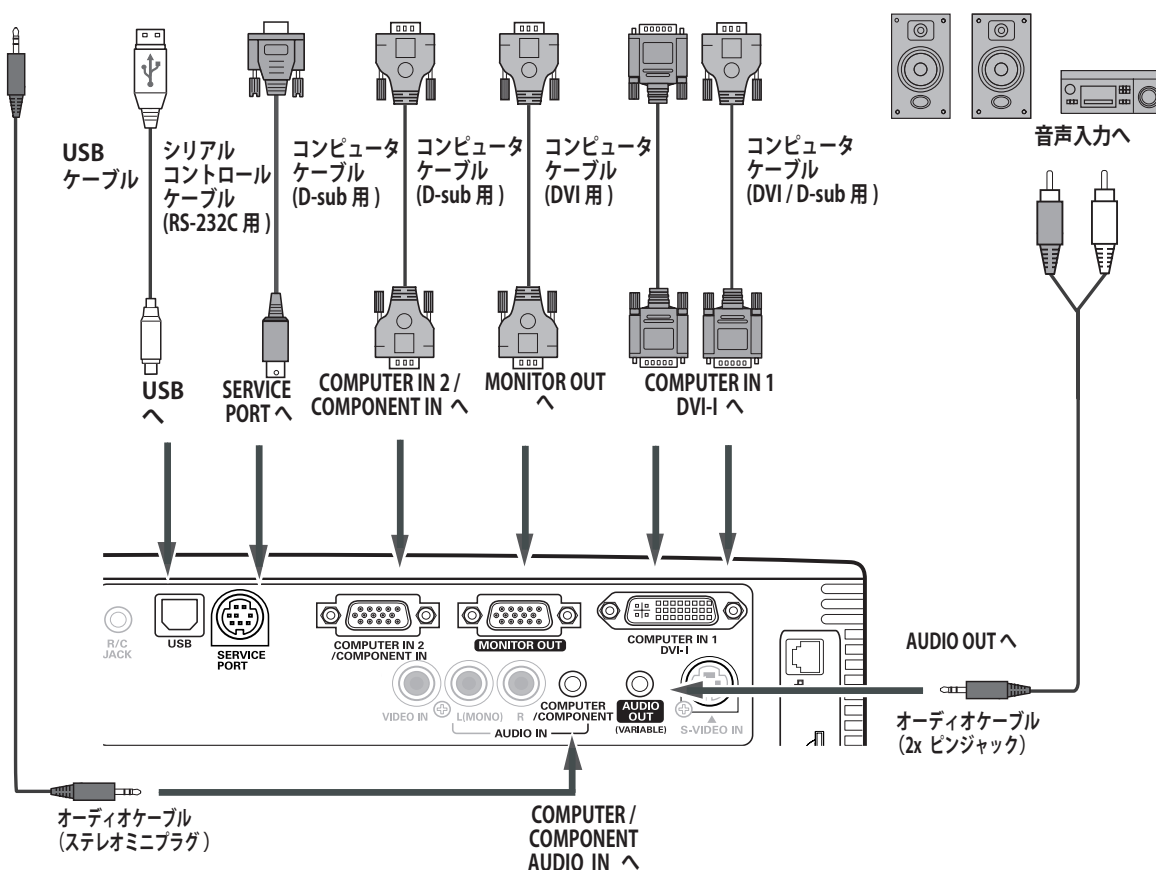
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル

・コンピュータケーブル（D-sub 用、DVI 用、DVI / D-sub 用）
・オーディオケーブル（ステレオミニプラグ）
・USB ケーブル
・シリアルコントロールケーブル
（注）コンピュータケーブル（D-sub 用）とシリアルコントロールケーブル以外のケーブルは付属していません。そのほかは市販のケーブルをお使いください。

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
※ ノートブック型は、「キーボードの［Fn］キーを押しながらファンクションキーを押す」といった操作が必要な場合があります。

＊注)
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。
また、オーディオケーブルは「抵抗なし」のものを使用してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ - 1

接続に使用するケーブル

・ビデオ / オーディオケーブル（3 x ピンジャック）
・S ビデオケーブル（ミニ DIN4 ピン）
・オーディオケーブル（ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）
（注：本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。）

ビデオ、S- ビデオ、ビデオディスクプレーヤ など

コンポジット
映像 / 音声出力へ

S 映像出力へ

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

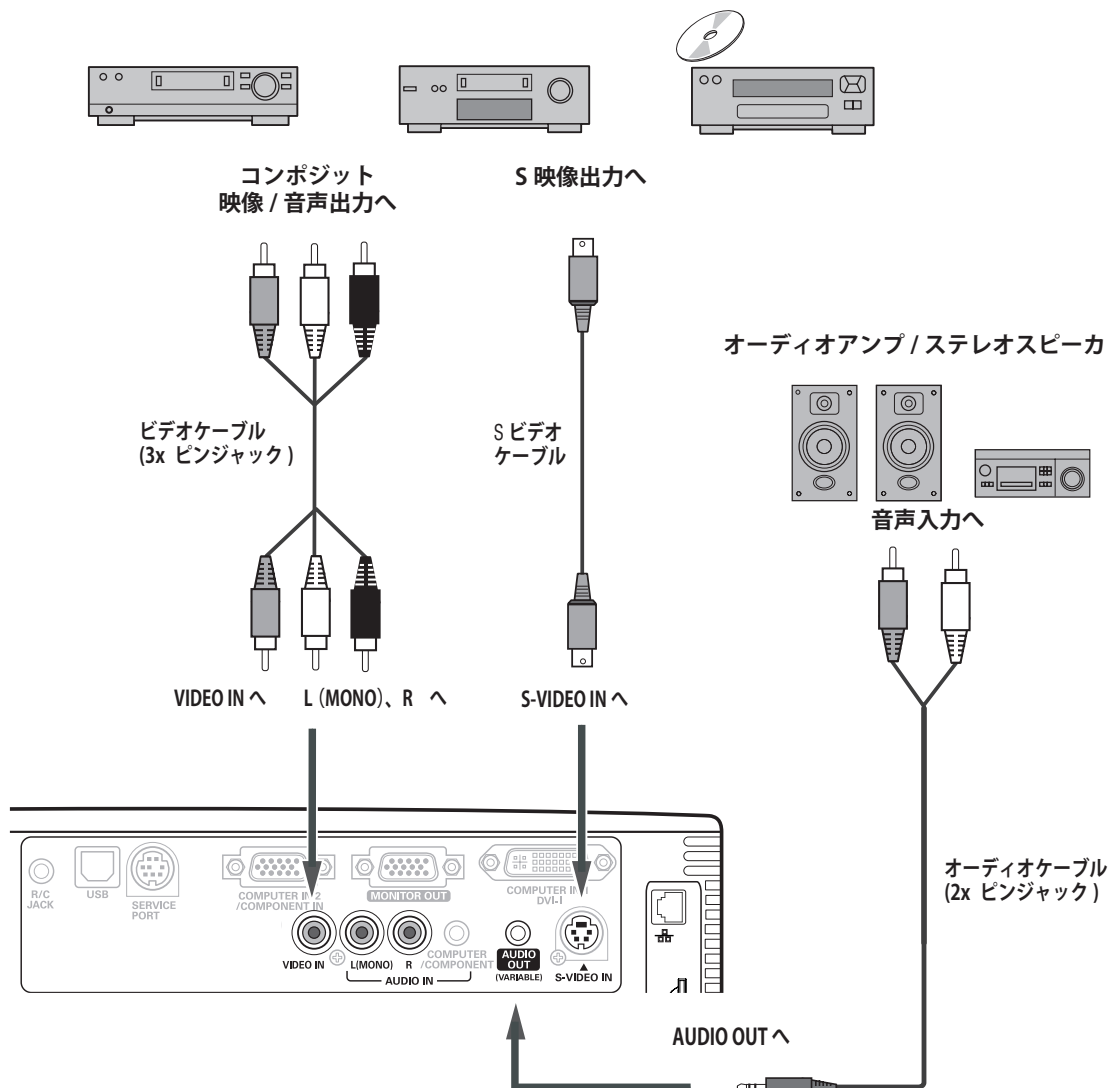
ビデオケーブル
(3x ピンジャック)

S ビデオ
ケーブル

音声入力へ

VIDEO IN へ　L（MONO）、R　へ　S-VIDEO IN へ

オーディオケーブル
(2x ピンジャック)

AUDIO OUT へ

※ 2 台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto］に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、（1）S-video、（2）Video の順で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせて［SELECT］ボタンで選択してください。（43 ページ）

＊注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。
また､オーディオケーブルは「抵抗なし」のものを使用してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ - 2

接続に使用するケーブル

・ビデオケーブル（3x ピンジャック）
・ビデオケーブル（D-sub / コンポーネント）（注）別売品があります。（☞ 81 ページ）
・オーディオケーブル（ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック）
（注：本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。）

コンポーネント映像出力機器
（ビデオ、ビデオディスクプレーヤ、ハイビジョン受信機など）

コンポーネント映像出力へ
音声出力へ

ビデオケーブル
(3x ピンジャック)

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

オーディオケーブル
(2x ピンジャック)

音声入力へ

（※）
ビデオケーブル
（D-sub /
コンポーネント）

COMPUTER IN 2
/ COMPONENT IN へ

COMPUTER /
COMPONENT
AUDIO IN へ

オーディオケーブル
(2x ピンジャック)

R/C JACK　USB　SERVICE PORT　COMPUTER IN 2 /COMPONENT IN　MONITOR OUT　COMPUTER IN 1 DVI-I
VIDEO IN　L(MONO)　R　AUDIO IN　COMPUTER /COMPONENT　AUDIO OUT (VARIABLE)　S-VIDEO IN

AUDIO OUT へ

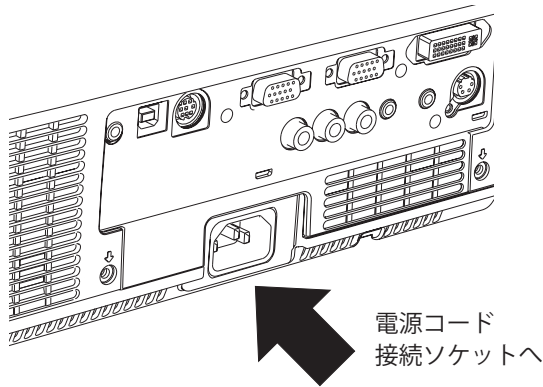
（※）別売のコンポーネントケーブルの 3 ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

＊注)
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。
また、オーディオケーブルは「抵抗なし」のものを使用してください。

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に 14、21 ～ 23 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

電源コード
接続ソケットへ

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

ソケット部分

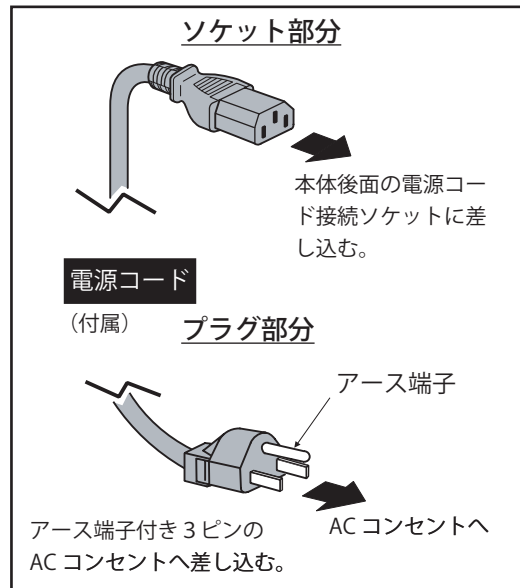
本体後面の電源コード接続ソケットに差し込む。

電源コード
（付属）

プラグ部分

アース端子

AC コンセントへ

アース端子付き 3 ピンの AC コンセントへ差し込む。

注　意

電源コード取扱上の注意

電源コードは、かならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものは絶対に使用しないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

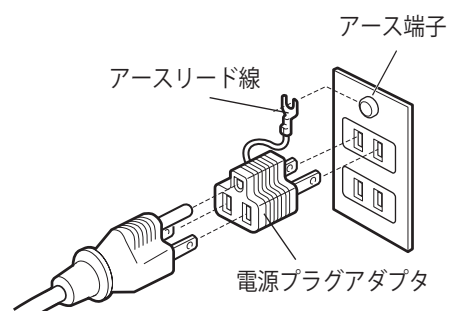
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください。

本機は、リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY）］ボタンで電源を切っても、約 9W の電力が供給されています。安全と節約のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

安全のため電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが ２ピン専用（アース端子が無い）の場合はアース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないとラジオやテレビに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因になりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグアダプタを使うときは安全のため、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前にアースリード線をアース端子に接続してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いてからアースリード線をアース端子からはずしてください。

アース端子
アースリード線
電源プラグアダプタ

電源を入れる

1 レンズキャップをはずします。

2 電源コードを AC コンセントに接続します。
［POWER］インジケータが赤く点灯します。

3 リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY）］ボタンを押して電源を入れます。（注 1）
［POWER］インジケータが赤から緑の点灯に変わります。約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン（注 2）が終わると画像が投映されます。
スタート時、画面左上に「ランプモード」（☞ 30、57 ページ）とインプットモード（☞ 33、43 ページ）が約 4 秒間表示されます。このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」（☞ 59 ページ）をオンにしている場合には、暗証番号を入力します。暗証番号の入力方法は次ページを参照してください。

（注 1）セッティングメニューで以下のように設定している場合
- 「オンスタート・オン」（☞ 57 ページ）に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
- 「自動入力切換・オン 2」（☞ 55 ページ）に設定している場合には、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

（注 2）セッティングメニューで以下のように設定している場合
- 「オンスクリーン表示・オン」（☞ 52 ページ）、「ロゴ選択・オフ」（☞ 52 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 52 ページ）に設定している場合には、「ロゴ選択」の設定にかかわらずランプ点灯後すぐに投映されます。

（注 3）
「インプットモード」、「ランプコントロール」、「自動入力切換」が表示されるのと同時に、ランプやエアフィルターの使用時間に関するメッセージ（下図）が画面右上に表示されることがあります。表示については 62、63 ページを参照してください。

ランプ交換　　フィルター警告

なお、「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 52 ページ）に設定しているときは表示されません。

投映中はレンズキャップを付けないでください。
ランプ点灯中はレンズキャップを付けないでください。
レンズキャップを付けたまま長時間使用すると、レンズキャップが変形するおそれがあります。

レンズキャップ

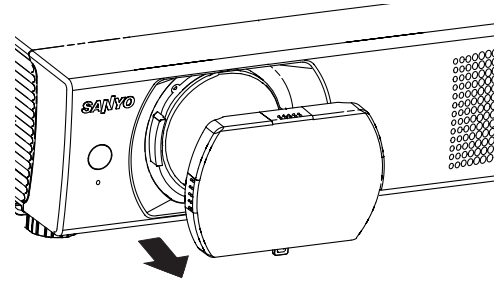
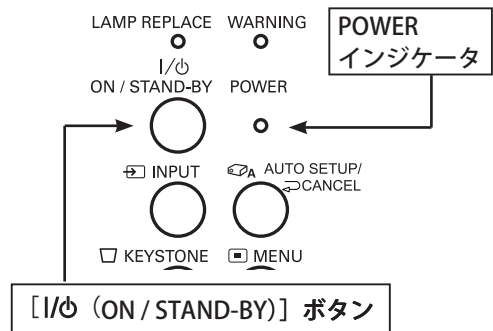
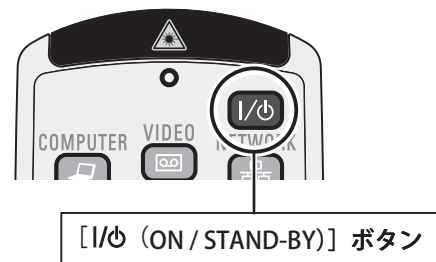
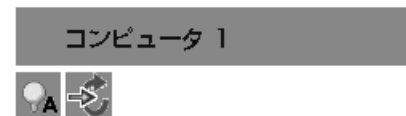
本体操作パネル

LAMP REPLACE　WARNING　POWER インジケータ
I/⏻ ON / STAND-BY　POWER
INPUT　AUTO SETUP/CANCEL
KEYSTONE　MENU
［I/⏻（ON / STAND-BY）］ボタン

リモコン

COMPUTER　VIDEO
［I/⏻（ON / STAND-BY）］ボタン

スタート時の画面表示

コンピュータ 1

「インプットモード」、「ランプコントロール」、「自動入力切換」の設定情報が 4 秒間表示されます。

電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備えて高温になったランプを冷却しています。この間はリモコンや本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY）］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが赤く点灯したら電源を入れることができます。

＊「ファン」モードの設定によって、ランプの冷却が完了するまでにかかる時間は異なります。
　工場出荷時の「ファン」モードは「L2」に設定されています。（☞ 59 ページ）

暗証番号の入力方法

①「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「3」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入れる画面が表示されます。

②［ポイント］ボタンの上下で 0 〜 9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります）この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

③ ４けた全てを入力したら、ポインタを［ポイント］ボタン右で［セット］に移動します。[SELECT] ボタンを押して決定します。数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直すけたを選択し、［ポイント］ボタンの上下で数字を選び直します。４けた全ての数字を消したい場合は、「クリア」を選択して［SELECT］ボタンを押します。

④ 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作することができます。
※ 暗証番号が入力されない場合には、約 3 分後に電源が切れます。

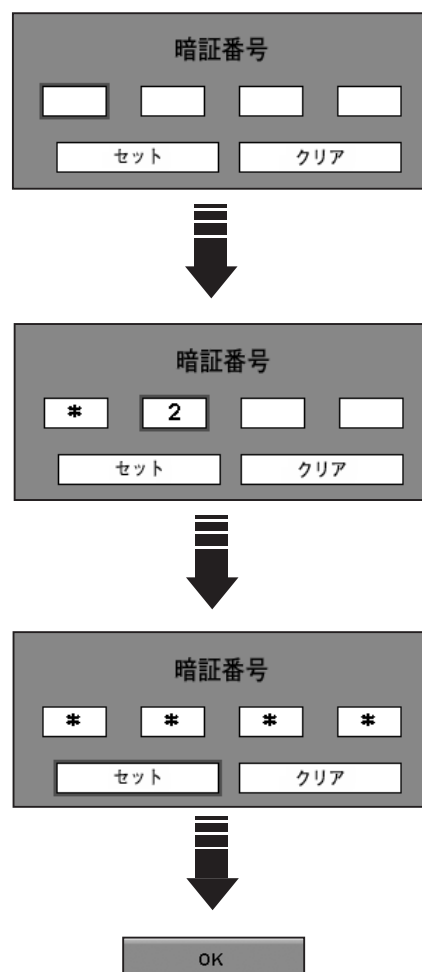
暗証番号
セット クリア

暗証番号
＊ 2
セット クリア

暗証番号
＊ ＊ ＊ ＊
セット クリア

OK

暗証番号ロックとは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。（☞ 59 ページ）

電源を切る

1 リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が切れます」と表示されます。

2 メッセージが表示されている間に再度リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押すと電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが緑色から赤の点滅に変わり、ランプの冷却が始まります。

もう１度押すと電源が切れます

※ 約４秒間表示されます。

電源を切った後、すぐには電源が入りません。

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備えて高温になっているランプを冷却しています。この間は［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが赤く点灯したら電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光し始めて安定していない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約５分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンで操作します。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している間、温度によってファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後のファンの回転速度と時間を「セッティング」メニューで設定することができます。(☞ 59 ページ)

ケースなどにしまう前に

本機はリモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押して電源を切ったらすぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、すぐにケースに収納すると、本体がしばらく高温になり故障の原因となりますので、プロジェクターが十分に冷えてからケースなどにしまうようにしてください。

パワーマネージメント機能とその働き

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上映像が入力されず、また、プロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。カウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・５分」に設定されています。（☞ 56 ページ）

タイマー表示

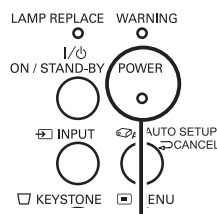
入力信号なし
04：50

パワーマネージメントの動作について

・設定が「待機」の場合
（1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターは操作できません。
（2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑色に点滅し、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

・設定が「シャットダウン」の場合
（1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターは操作できません。
（2）ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。

パワーマネージメント時のインジケータ

LAMP REPLACE
WARNING
I/⏻
ON / STAND-BY
POWER
INPUT
AUTO SETUP/CANCEL
KEYSTONE
MENU

パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが点滅を始めます。

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合には、24 時間に一度電源を切り、１時間休ませてください。休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

投映画面を調整する

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンまたは操作パネルで操作する

リモコンまたは本体操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押すと、画面に「キーストーン」と表示されます。表示が出ている間にリモコンまたは本体操作パネルの［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

※「キーストーン」が表示されている間にもう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

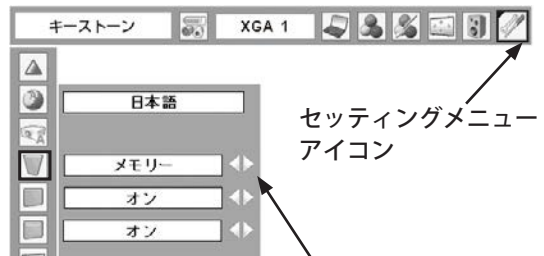
キーストーン

※　約4秒間表示されます。
※　「オンスクリーン表示:オフ」(☛ 52 ページ)のときには表示されません。
※　補正された方向の矢印は赤く表示されます。なお、無補正の方向の矢印は白色です。
※　最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

オンスクリーンメニューで操作する

☛ 31 ページ：オンスクリーンメニューの操作方法
☛ 50 ページ：「セッティング」メニューで各種機能を設定する

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キーストーン」に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。［ポイント］ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。もう一度［SELECT］ボタンを押すとキーストーン調整モードになり、画面に「キーストーン」と表示されます。
3. 「キーストーン」の表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

※ キーストーン調整で補正した画像は、信号をデジタル圧縮して投映するため、線や文字がオリジナルの画像と異なる場合があります。また、信号の種類によっては補正量に制限があります。

キーストーン調整

「メモリー」または「リセット」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、上図の「キーストーン」が表示されます。

ポイントボタン上（▲）で上部の幅を調整

ポイントボタン下（▼）で下部の幅を調整

オートセットアップ

リモコンの［AUTO SET / CANCEL］ボタンまたは本体操作パネルの［AUTO SETUP / CANCEL］ボタンを押すと、「PC 調整（＊ 1)」と「キーストーン（＊ 2)」が自動的に調整されます。
調整が完了すると、調整された適正な画面で投映されます。
オートセットアップで自動調整する内容は、「セッティング」メニューの「オートセットアップ」で設定できます。（☛ 51 ページ）

※「オートキーストーン」は、プロジェクターが設置されている傾斜を読み取り、台形ひずみを自動で補正します。
なお、設置の状況によっては、完全に補正できないことがあります。その場合には上記に従って手動で補正してください。

< ご注意 >
（＊ 1）PC 調整は入力信号が PC のときだけ働きます。「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」を自動調整します。
（＊ 2）セッティングメニューで「天吊り」機能が「オン」のときは「オートキーストーン」は選択できません。（☛ 55 ページ）

［AUTO SET / CANCEL］ボタン（リモコン）

ズームとフォーカス

レンズに付いているレバーで画面の大きさと焦点を調整します。

ズーム

ズームレバーを回して画面の大きさを調整します。

フォーカス

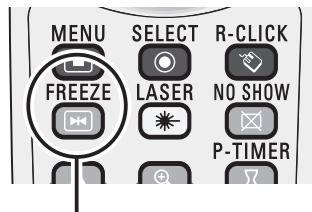
フォーカスレバーを回して焦点を合わせます。

ズームレバーとフォーカスレバー

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは本体操作パネルのどのボタンを押しても FREEZE を解除できます。
※ ［FREEZE］ボタンは本体操作パネルにはありません。

MENU SELECT R-CLICK
FREEZE LASER NO SHOW
P-TIMER

［FREEZE］ボタン

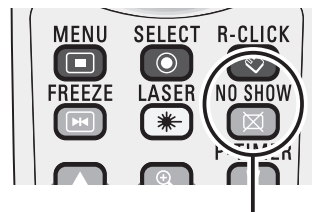
こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらうと、準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションを行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと､「ブランク」表示が出て、再生機器にかかわらず投映画面を一時的に消すことができます。

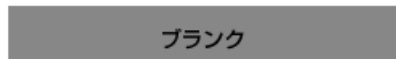
※ リモコンまたは本体のどのボタンを押しても解除できます。
※ ［NO SHOW］ボタンは本体操作パネルにはありません。

MENU SELECT R-CLICK
FREEZE LASER NO SHOW

［NO SHOW］ボタン

ロゴ画面を表示させることができます

［NO SHOW］ボタンを 2 回押します。「セッティング」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」（☛ 53 ページ）を使い、「ロゴ選択・ユーザー」（☛ 52 ページ）を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。

ブランク

※ 「ブランク」は、約 4 秒間表示されます。
※ 「オンスクリーン表示：オフ」（☛ 52 ページ）のときには表示されません。

こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

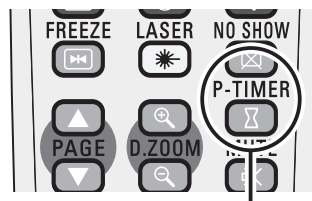
リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントが止まり、それまでの経過時間を表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。

※ ［P-TIMER］ボタンは本体操作パネルにはありません。

FREEZE LASER NO SHOW
P-TIMER
PAGE D.ZOOM

［P-TIMER］ボタン

02 : 02

※ 00 分 00 秒から最長 59 分 59 秒まで、経過時間を画面に表示できます。

こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているなど、時間に制約があるときには、プレゼンターは経過時間を確認しながらスムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

ランプモードを切り換える (LAMP CONTROL)

リモコンの［LAMP CONTROL］ボタンを押すと、記憶しているランプモードが画面に表示（※）され、ランプモードを変えることができます。（☛57 ページ）
［LAMP CONTROL］ボタンを押すたびに以下の順に表示が切り換わります。

→ → →

（明るい・・・・・・・・・・・・暗い）

＊［LAMP CONTROL］ボタンは本体操作パネルにはありません。

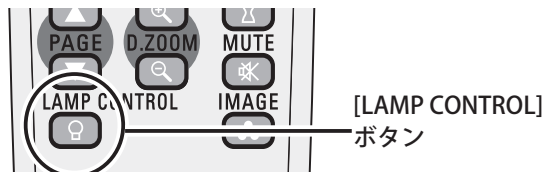
リモコン

PAGE D.ZOOM MUTE
LAMP CONTROL IMAGE

[LAMP CONTROL] ボタン

※ 約４秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示：オフ」（☛52 ページ）のときには表示されません。

オートモード	・・・	調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
高（ハイ）モード	・・・	最も明るい設定です。
ノーマルモード	・・・	高モードとエコモードの中間の明るさです。
エコモード	・・・	明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。

明るい ↕ 暗い

音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調整する

音量

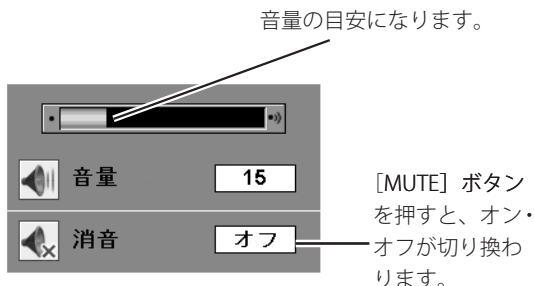
リモコンまたは本体操作パネルの［VOLUME］ボタン（◀▶）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、リモコンまたは本体操作パネルの［VOLUME］ボタン（◀▶）を押すと解除されます。

音量の目安になります。

音量 15
消音 オフ

［MUTE］ボタンを押すと、オン・オフが切り換わります。

※ 約４秒間表示されます。
※「オンスクリーン表示：オフ」（☛51 ページ）のときには表示されません。

サウンドメニューで音を調整する

1 リモコンまたは本体操作パネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい項目にポインタを合わせて［SELECT］ボタンで選択します。

音量

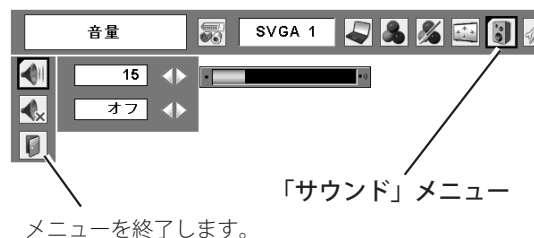
［ポイント］ボタン左（◀）で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右（▶）で音量が大きくなります。音量バーを目安にして調節してください。

消音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると音が出ます。

音量 SVGA 1
15
オフ

「サウンド」メニュー

メニューを終了します。

※ 消音を「オン」を設定していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に消音は「オフ」になり、再度音が出ます。

※［AUDIO OUT（音声出力端子）］は可変出力です。プロジェクターで音量を変更すると、［AUDIO OUT（音声出力端子）］からの出力も変更されます。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニューの基本操作

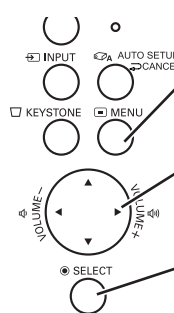
オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、
① ポインタを移動させて
② ポインタがある項目を［SELECT］ボタンで選択する
が基本です。

① ポインタの動かし方

ポインタは［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。
［ポイント］ボタンはリモコンと本体操作パネル両方にあります。

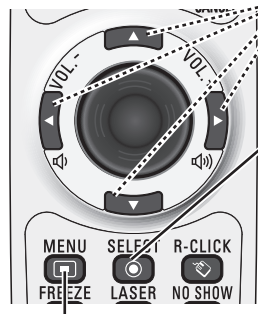
② 項目の選択のしかた

ポインタが指す項目やアイコン（操作をイメージした絵）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。
［SELECT］ボタンはリモコンと本体操作パネル両方にあります。

本体操作パネル

MENU ボタン
メニューバーを表示させます。

ポイントボタン
ポインタを上下左右に動かします。

SELECT ボタン
ポインタが指している項目を選択します。

リモコン

ポイントボタン
ポインタを上下左右に動かします。

SELECT ボタン
ポインタが指している項目を選択します。

MENU ボタン
メニューバーを表示させます。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（次ページ）メニューバーにはアイコンが選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした絵）の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

2 赤い枠のポインタを［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

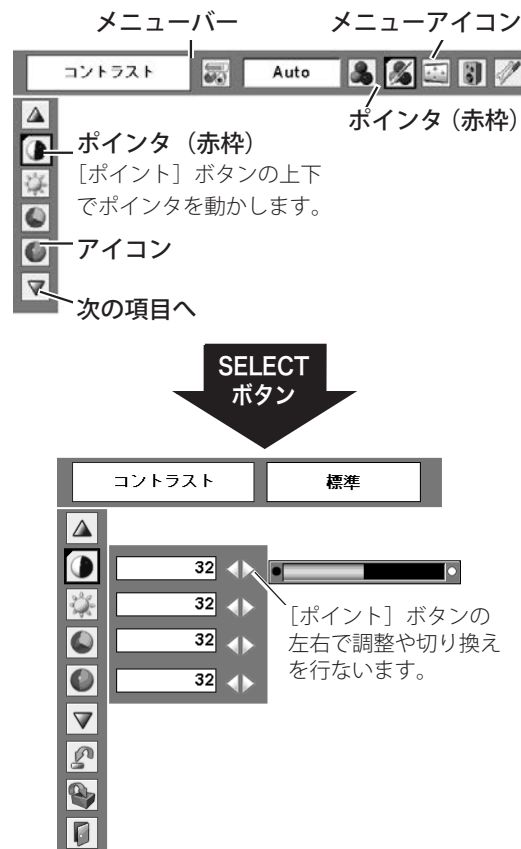
5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目をご覧ください。

※これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについて説明するとき、"アイコン"を省略するときがあります。

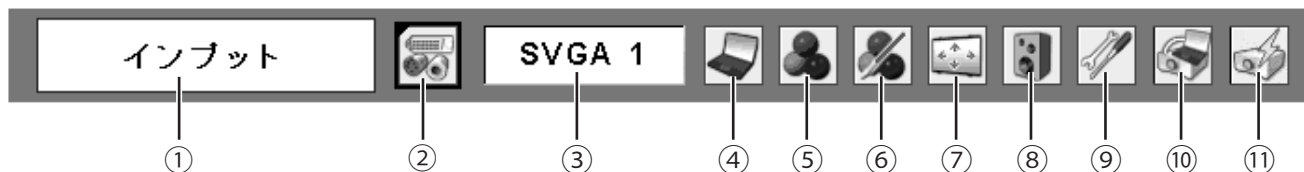
メニューバー　メニューアイコン
コントラスト　Auto
ポインタ（赤枠）
ポインタ（赤枠）
［ポイント］ボタンの上下でポインタを動かします。
アイコン
次の項目へ

SELECT ボタン

コントラスト　標準
32
32
32
32
［ポイント］ボタンの左右で調整や切り換えを行ないます。

基本の操作

メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー

インプット　SVGA 1

① ガイドボックス
オンスクリーンメニュー選択中の項目を表示します。

② インプットメニュー　33 ページ
コンピュータ / ビデオ入力および有線 LAN / 無線 LAN を切り換えます。

③ システムボックス　34 ページ
コンピュータシステムを選択します。ボックス内の表示は、選択されているコンピュータシステムです。

④ PC 調整メニュー　35 ページ
お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。

⑤ イメージ選択メニュー　38 ページ
コンピュータ画面のイメージモードを選択します。

⑥ イメージ調整メニュー　39 ページ
コンピュータ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑦ スクリーンメニュー　41 ページ
画面の大きさのモード設定をします。

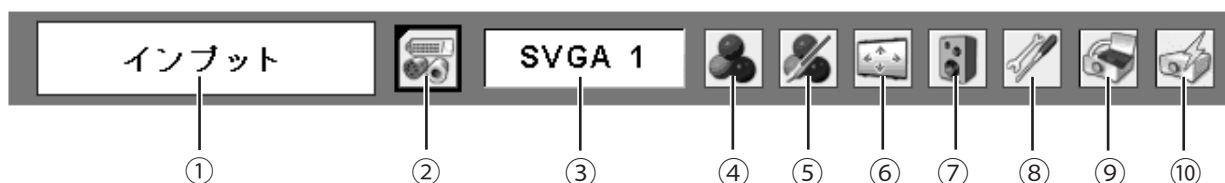
⑧ サウンドメニュー　30 ページ
音量の調節や消音の切り換えを行ないます。

⑨ セッティングメニュー　50 ページ
プロジェクターの各種設定を行ないます。

⑩ 有線 LAN メニュー
有線 LAN の各種設定を行ないます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

⑪ 無線 LAN メニュー
無線 LAN の各種設定を行ないます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ビデオ画面のメニューバー

インプット　SVGA 1

① ガイドボックス
オンスクリーンメニュー選択中の項目を表示します。

② インプットメニュー　43 ページ
コンピュータ / ビデオ入力および有線 LAN / 無線 LAN を切り換えます。

③ システムボックス　44 ページ
カラーシステムまたは走査方式を選択します。

④ イメージ選択メニュー　45 ページ
ビデオ画面のイメージモードを選択します。

⑤ イメージ調整メニュー　46 ページ
ビデオ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑥ スクリーンメニュー　49 ページ
画面の大きさのモード設定をします。

⑦ サウンドメニュー　30 ページ
音量の調節や消音の切り換えを行ないます。

⑧ セッティングメニュー　50 ページ
プロジェクターの各種設定を行ないます。

⑨ 有線 LAN メニュー
有線 LAN の各種設定を行ないます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

⑩ 無線 LAN メニュー
無線 LAN の各種設定を行ないます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

コンピュータ入力に切り換える

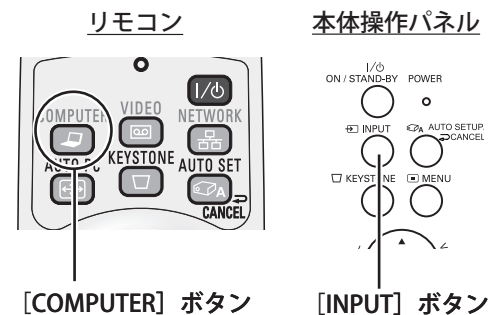
ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの[COMPUTER]ボタン、または本体操作パネルの[INPUT]ボタンを押して「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」を選択します。

＜ご注意＞
※ ボタンを押すごとに入力信号が切り換わります。
※ 正しい入力信号が選択されない場合には、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)

入力切換に使用するボタン

リモコン　本体操作パネル

[COMPUTER] ボタン　[INPUT] ボタン

インプットメニューで入力を切り換える

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

コンピュータ 1 (アナログ)

上記「*1*」に続いて、

2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 1 (アナログ)」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

コンピュータ 1 (デジタル)

上記「*1*」に続いて、

2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 1 (デジタル)」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。「信号選択」メニューが表示されます。

3 ポインタを「RGB (PC digital)」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

コンピュータ 2

上記「*1*」に続いて、

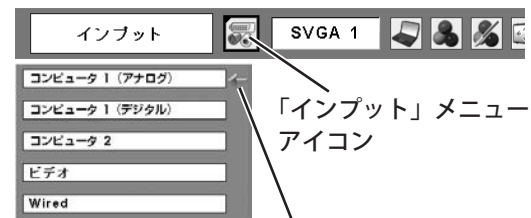
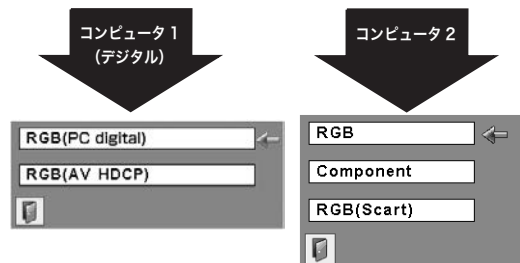
2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 2」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。「信号選択」メニューが表示されます。

3 ポインタを「RGB」に合わせて [SELECT] ボタンを押します。

インプット メニュー

「インプット」メニューアイコン

接続している端子にポインタを合わせて [SELECT] ボタンで選択します。

コンピュータ 1 (デジタル)　コンピュータ 2

ポインタを入力信号の種類に合わせて [SELECT] ボタンで選択します。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。（☛ 76、77 ページ）
自動で選択されたシステムモードはメニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システム　Auto

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合には、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」と表示されます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。（☛ 35 ～ 37 ページ）

- - - -

コンピュータの入力信号が無いときに表示されます。接続を確認してください。

D-VGA　**D-SVGA**　**D-XGA**　・・・など

入力信号がデジタルのときに表示されます。

Network

Wired / Wireless を選択しているときに表示されます。（☛ 別冊の取扱説明書を参照してください。）

システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときには、マニュアルでシステムモードを選択します。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選びます。

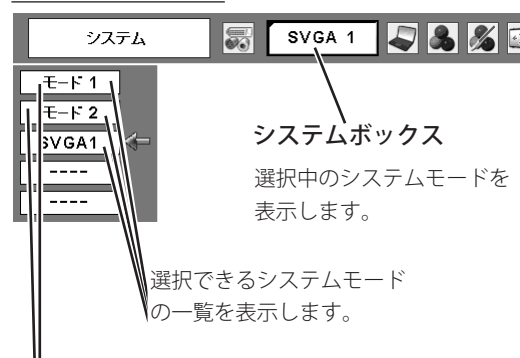
※「カスタムモード」
お使いのコンピュータに合わせて、お客様がマニュアルで登録したシステムモードです。（☛ 36、37 ページ）

システムメニュー

システム　SVGA 1

モード 1
モード 2
SVGA1

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

選択できるシステムモードの一覧を表示します。

PC 調整メニューで登録した「カスタムモード 1 ～ 5 」を表示します。

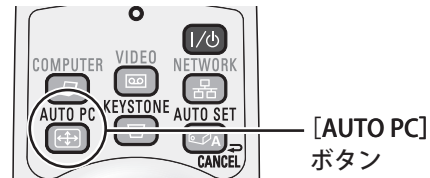
コンピュータシステムの調整

自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の４項目を自動調整することができます。

ダイレクトボタンで調整する

リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。上記の４項目が自動的に調整されます。
また、本体操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンでも「オートキーストーン」機能とともに「自動 PC 調整」機能が動作します。
（☛ 51 ページ）

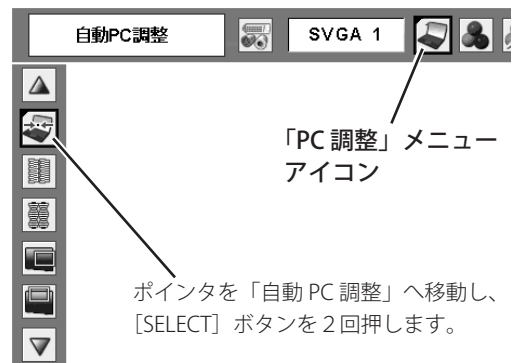
［AUTO PC］ボタン（リモコン）

メニューから調整する

自動 PC 調整

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC 調整画面が表示されます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行します。

自動 PC 調整メニュー

< ご注意 >
※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。
※「インプット」メニューで「Wired」「Wireless」を選択しているときは「PC 調整」メニューは選択できません。
※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調節できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
（☛ 36、37 ページ）
※ 自動調整した内容を登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録方法については、次ページの「マニュアル PC 調整」の手順３をご覧ください。
※ システムメニューで 480i、575i、480p、575p、720p、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能は働きません。

マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示されて画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は、５つまで登録できます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。
※「インプット」メニューで「Wired」「Wireless」を選択しているときは「PC 調整」メニューは選択できません。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。
※ 調整項目については、次ページをご参照ください。

3 調整した内容は「メモリー」で登録します。また、調整をキャンセルして調整前の値に戻すには「リセット」を、登録を削除するには「データ消去」を使用します。

以下、「メモリー」「リセット」「データ消去」について説明します。

メモリー

「PC 調整」メニューで調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

① ポインタを「メモリー」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが表示されます。

② 登録したいモード（「モード１から５」のいずれか）にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」に登録され、「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整」メニューに戻ります。

※ 登録するモードを選び直すときには、「いいえ」を選択し、［SELECT］ボタンを押して「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。

リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

① ポインタを［リセット］に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値が表示されます。また、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止できます。

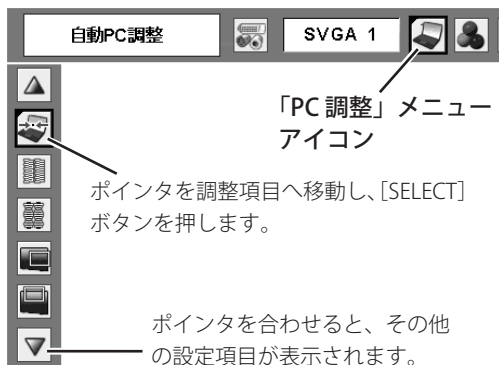
③ ポインタが「PC 調整」メニューの に移動します。

PC 調整メニュー

自動PC調整　SVGA 1

「PC 調整」メニューアイコン

ポインタを調整項目へ移動し、［SELECT］ボタンを押します。

ポインタを合わせると、その他の設定項目が表示されます。

PC 調整の登録（メモリー）方法

ポインタを合わせたカスタムモードの状況が上部に表示されます。

メモリー　モード 2　データなし

「PC 調整データ登録」メニュー

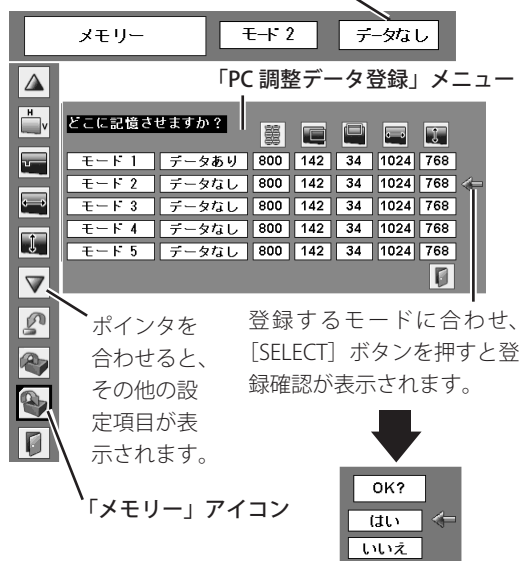
どこに記憶させますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

ポインタを合わせると、その他の設定項目が表示されます。

登録するモードに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと登録確認が表示されます。

OK?
はい
いいえ

「メモリー」アイコン

※ 調整メニューの表示内容

総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 V が表示されます。

どこに記憶させますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

「データあり」は、すでにカスタムモードが登録されています。ここに登録すると、登録されている内容が削除され、新しい内容で上書きされます。

データ消去

カスタムモードに登録した調整内容を消去します。

① ポインタを［データ消去］に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが表示されます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 5」のいずれか）にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が削除され、「PC 調整データ消去」メニューに戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整」メニューに戻ります。

※ 消去するモードを選び直すときには、「いいえ」を選択し、［SELECT］ボタンを押して「PC 調整データ消去」メニューに戻ります。

戻る

メニューを終了します。

項　目

トラッキング （※）

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0 から 31 まで）

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H （※）

水平解像度を調整します。［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V （※）

垂直解像度を調整します。［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

PC 調整データの消去方法

ポインタを合わせたカスタムモードの状況が上部に表示されます。

データ消去　モード 1　データあり

「PC 調整データ消去」メニュー

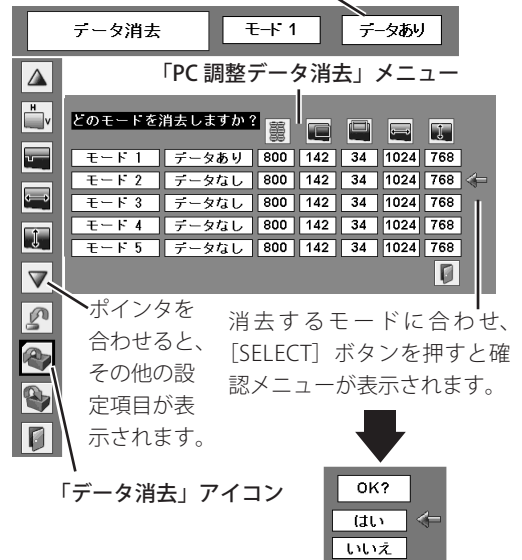
どのモードを消去しますか？

モード	データ					
モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

ポインタを合わせると、その他の設定項目が表示されます。

消去するモードに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと確認メニューが表示されます。

「データ消去」アイコン

OK?
はい
いいえ

＜「トラッキング」のご注意＞
※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

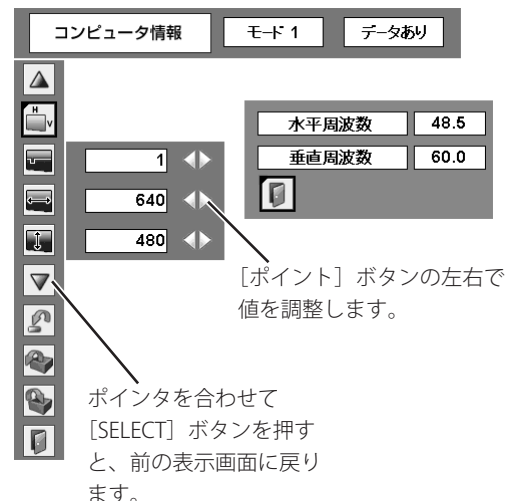
コンピュータ情報

コンピュータ情報　モード 1　データあり

水平周波数	48.5
垂直周波数	60.0

1
640
480

［ポイント］ボタンの左右で値を調整します。

ポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

＜画面領域 H、画面領域 V のご注意＞
※「画面領域 H」「画面領域 V」は、「システム」メニューで「480i、575i、480p、575p、720p、1035i、1080i」のシステムモードが選択されている場合には、調整できません。

イメージの調整

［IMAGE］ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル」「黒（緑）板」「イメージ１」「イメージ２」「イメージ３」「イメージ４」と切り換わります。（下図参照）

※［IMAGE］ボタンは本体操作パネルにはありません。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質になります。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調が明るめに補正されます。そのため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室の黒板のような、緑色の黒板に投映するときに、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ１～４

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質設定を呼び出します。（☛ 次ページ）

IMAGE ボタン

ダイナミック → 標　準 → リアル → 黒（緑）板 → イメージ１ → イメージ２ → イメージ３ → イメージ４

リモコン

PAGE　D.ZOOM　MUTE　LAMP CONTROL　IMAGE

［IMAGE］ボタン

［IMAGE］ボタンを押すごとに、左図の順で切り換わります。

※ モード名は約４秒間表示されます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☛ 52 ページ）に設定している場合には、モード名は表示されません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタをお好みのイメージモードに合わせて［SELECT］ボタンで決定します。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質になります。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

中間調が明るめに補正されます。そのため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室の黒板のような、緑色の黒板に投映するときに、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ１～４

「イメージ調整」メニューでマニュアル調整した画質設定を呼び出します。（☛ 次ページ）

イメージ選択メニュー

選択したイメージモード名が表示されます。

標準　SVGA 1

「イメージ選択」メニューアイコン

ポインタをお好みのイメージモードに移動させ、［SELECT］ボタンを押します。

選択したイメージモードにはチェックマークが付きます。

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 調整内容を登録する場合には、「メモリー」で登録します。また、調整をキャンセルして調整前の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。以下、「メモリー」と「リセット」について説明します。

メモリー

「イメージ調整」メニューで調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

① ポインタを［メモリー］に合わせて［SELECT］を押すと、「イメージ調整登録」メニューが表示されます。

② 登録したいイメージモード（「モード１から４」のいずれか）にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の「登録確認」メニューが表示されます。

③「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了し、「イメージ調整登録」メニューに戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。
（ポインタは自動的に ［戻る］ に移動します。）

※ 登録するモードを選び直すときには、「いいえ」を選択し、［SELECT］ボタンを押して「イメージ調整登録」メニューに戻ります。

リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

① ポインタを［リセット］に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値が表示されます。また、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止できます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの ［戻る］ に移動します。

戻る

メニューを終了します。

イメージの調整手順

コントラスト　SVGA 1

「イメージ調整」メニューアイコン

項目にポインタを移動させ、［SELECT］ボタンを押します。

コントラスト　標準

32　32　中　32　32　32

調整画面が表示されますので、画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で調整します。

ポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押すと、その他の設定項目が表示されます。

イメージの登録（メモリー）方法

メモリー　標準

0　8

「イメージ調整登録」メニュー

登録したいイメージモードにポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。

「メモリー」アイコン

［メモリー］に合わせて［SELECT］ボタンを押すとイメージ調整登録メニューが表示されます。

OK?
はい
いいえ

「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了します。

項　目

項目の値は、［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる　（0 ～ 63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる　（0 ～ 63）

色温度

◀ 超低（赤みがかる）　▶ 高（青みがかる）（超低 – 低 – 中 – 高）

< ご注意 >

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか一つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる　（各色 0 ～ 63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり　（0 ～ 15）

ガンマ補正

白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
（0 ～ 15）

画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを選択したい項目に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

ノーマル

画像を有効投映画面注）の高さに合わせ、入力信号のアスペクト比を保ったまま投映します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。

① 画像が有効投映画面注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」と表示されます。

② 画像が有効投映画面注）と同じときは、画面の左上に「リアル」と表示されますが、その後、「ノーマル」と同じ画面サイズで投映されます。

③ 画像が有効投映画面注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」と表示され、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ リアルを選択しているときには、「デジタルズーム ＋・ー」は選択できません。

ワイド

画像を有効投映画面注）の幅に合わせ、アスペクト比 16：９のワイド画面で投映します。

フル

アスペクト比４：３のフルスクリーンサイズで投映します。

※「フル」を選択しているときには、「デジタルズーム ＋・ー」は選択できません。

カスタム

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。「カスタム」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「カスタム」の表示（※）が現れ、約４秒後「アスペクト調整」画面が表示されます。

※「オンスクリーン表示・オフ（52 ページ）」のときは、「カスタム」を選択して［SELECT］ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

スケール　H/V

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

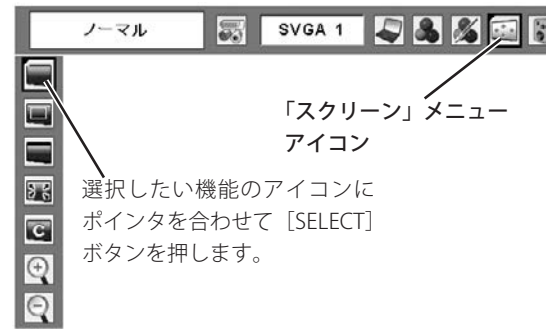
H&V

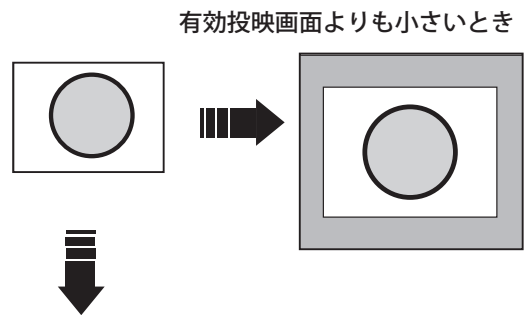
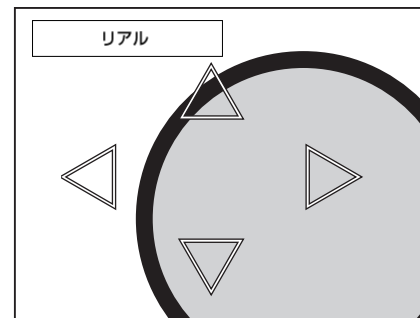
垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケールを調整するときに「オン」を選択します。

※「スケール H」を調整すると、「スケール H」の数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。

ポジション　H/V

垂直および水平の位置を調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

スクリーンメニュー

（注）本機の有効投映画面は 1024 × 768 ドットです。

「リアル」の投映パターン

※ 移動した方向の矢印は赤く表示されます。

※ 最大の移動位置で矢印の表示が消えます。

< ご注意 >

※「スケール H/V」と「ポジション H/V」は、入力信号によっては補正量が変わることがあります。

カスタム（つづき）

共通

調整した内容を全ての入力（「コンピュータ 1/ 2、ビデオ」）に反映します。［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録されます。

※ 例えば､コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

リセット

調整した内容全てをリセットし、調整前の値に戻します。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すとリセットされます。

カスタムのアスペクト調整画面

アスペクト		
スケール	H	0
	V	0
H&V		オフ
ポジション	H	0
	V	0
		共通
		リセット

※［ポイント］ボタンの上下で項目を移動し、［ポイント］ボタンの左右で値を調節します。

＜「カスタム」に関するご注意＞

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。

※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。

※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

デジタルズーム ＋

「デジタルズーム＋」を選択すると､メニューバーが画面から消え､「D.Zoom ＋」が表示されます。［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
リモコンの［D.ZOOM ▲］ボタンを押しても画像を拡大できます。

デジタルズーム ー

「デジタルズームー」を選択すると､メニューバーが画面から消え､「D.Zoom ー」が表示されます。［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの［D.ZOOM ▼］ボタンを押しても画像を縮小できます。

＜「デジタルズーム ＋ / ー」に関するご注意＞

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。

※「ノーマル」モードへ戻るときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせて［SELECT］ボタンを押します。

※「カスタム」モードに設定しているときには、「デジタルズーム ー」による画像の縮小は機能しません。

※ 本機は UXGA（1600 × 1200 ドット）を超える解像度には対応しておりません。プロジェクターに接続する前に低い解像度に設定しておいてください。

※ 有効投映画面注）以外の画像データは、初期画面で有効投映画面に合うように自動的に画像サイズが変更されます。

※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用している場合には、「デジタルズーム＋」モードでの画像移動機能が正しく働かないことがあります。

※ システムモード（☛ 34 ページ）で、「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン調整」が最大値の場合、「デジタルズームー」が正しく働かないことがあります。

※「スケール H/V」「ポジション H/V」「デジタルズーム＋ / ー」では、入力信号によっては補正量が変わることがあります。

※ 信号の種類によって、選択できるスクリーンメニューのモードは異なります。

（注）本機の有効投映画面は 1024 × 768 ドットです。

信号種類別、選択できるモードの一覧

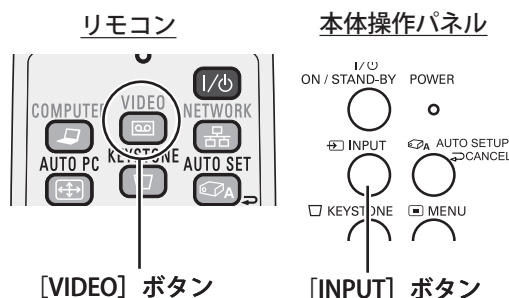
	480i / 575i / 480p / 575p	1035i / 1080i / 720p	左記以外
ノーマル	○	○	○
リアル	×	×	○
ワイド	○	×	○
フル	×	×	○
カスタム	○	○	○
デジタルズーム ＋ / ー	×	×	○

ビデオ入力に切り換える

ダイレクトボタンで入力を切り換える

リモコンの［VIDEO］ボタン、または本体操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「ビデオ」に切り換えます。

※［INPUT］ボタンは、押すごとに入力信号が切り換わります。
※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

VIDEO / INPUT ボタン

リモコン　本体操作パネル

［VIDEO］ボタン　［INPUT］ボタン

インプットメニューで入力を切り換える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

インプット メニュー

「インプット」メニューアイコン

接続している端子にポインタを合わせて［SELECT］ボタンで選択します。

Auto / Video / S-video

上記「1」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ビデオ」に合わせて［SELECT］ボタンを押します「信号選択」メニューが表示されます。

3 ポインタを入力信号に合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ ２台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（入力信号の有無ではありません）を検知して、① S-video ② Video の順番で入力端子を自動選択します。
使用している入力端子が選択されないときは、信号選択メニューで正しい信号を選択してください。

信号選択メニュー（Video/RGB/Component）

Auto / Video / S-video

RGB (AV HDCP)

上記「1」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ１（デジタル）」に合わせて［SELECT］ボタンを押します「信号選択」メニューが表示されます。

3 ポインタを「RGB（AV HDCP)」に合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

RGB (AV HDCP)

Component

上記「1」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ２」に合わせて［SELECT］ボタンを押します「信号選択」メニューが表示されます。

3 ポインタを「Component」に合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※「RGB（Scart)」は、ビデオ機器からの信号（SCART 21 ピン）が、［COMPUTER IN 2 / COMPONENT / MONITER OUT］に入力されている場合に選択します。

Component

< SCART 21 ピン端子について >
SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子です。この端子の RGB 出力を当機で見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの［COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN］を専用のケーブルで接続します。［COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN］で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

カラーシステムや走査方式を選択する

カラーシステムと走査方式の選択

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「システム」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせて［SELECT］ボタンで選択してください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムに、プロジェクターが自動で対応します。

＜ご注意＞

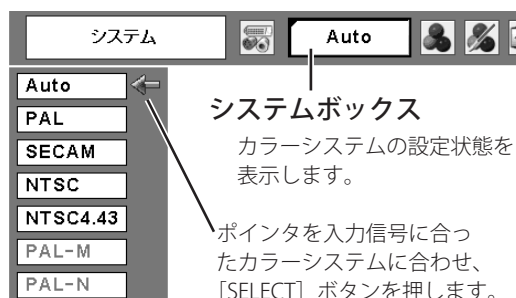
※「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「***1***」「***2***」の手順で選択してください。

システム メニュー
（コンポジット映像または S 映像入力時）

システム　Auto

Auto
PAL
SECAM
NTSC
NTSC4.43
PAL-M
PAL-N

システムボックス
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

PAL、SECAM、NTSC、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定しても自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ない、など）は、「NTSC」を手動で選択してください。

コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

＜ご注意＞

※「1080i」「1035i」は自動選択されません。上記「***1***」「***2***」の手順で選択してください。

コンポーネント映像の走査方式

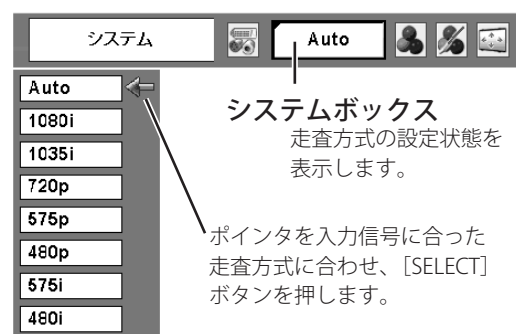
正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選択してください。

システム メニュー
（コンポーネント映像入力時）

システム　Auto

Auto
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i

システムボックス
走査方式の設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合った走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

[IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「シネマ」「黒（緑）板」「イメージ１」「イメージ２」「イメージ３」「イメージ４」と切り換わります。

※ [IMAGE] ボタンは本体操作パネルにはありません。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質になります。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

諧調表現を重視した画質になります。映画鑑賞に適しています。

黒（緑）板

教室の黒板のような緑色の黒板に投映するときに、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ１～４

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質設定を呼び出します。（☞ 次ページ）

IMAGE ボタン

ダイナミック → 標　準 → シネマ → 黒（緑）板 → イメージ１ → イメージ２ → イメージ３ → イメージ４

リモコン

PAGE　D.ZOOM　MUTE
LAMP CONTROL　IMAGE
RESET　ALL OFF

[IMAGE] ボタン

[IMAGE] ボタンを押すごとに、左図の順で切り換わります。

※ モード名は約４秒間表示されます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 52 ページ）に設定している場合には、モード名は表示されません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタをお好みのイメージモードに合わせて [SELECT] ボタンで決定します。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質になります。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

諧調表現を重視した画質になります。映画鑑賞に適しています。

黒（緑）板

教室の黒板のような、緑色の黒板に投映するときに、白いスクリーンに投映したときに近い色合いを再現します。

イメージ１～４

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質設定を呼び出します。（☞ 次ページ）

イメージ選択メニュー

選択したイメージモード名が表示されます。

標準　Auto

「イメージ選択」メニューアイコン

ポインタをお好みのイメージモードに移動させ、[SELECT] ボタンを押します。

選択したイメージモードにはチェックマークが付きます。

ビデオ入力

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 調整内容を、「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行ないます。以下、「メモリー」と「リセット」について説明します。

メモリー

「イメージ調整」メニューで調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

① ポインタを［メモリー］に合わせて［SELECT］を押すと、「イメージ調整登録メニュー」が表示されます。

② 登録したいイメージモード（「モード１から４」のいずれか）にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了し、「イメージ調整登録」メニューに戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。
（ポインタは自動的に に移動します。）

※ 登録するモードを選び直すときには、「いいえ」を選択し、［SELECT］ボタンを押して「イメージ調整登録」メニューに戻ります。

リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

① ポインタを［リセット］に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値が表示されます。また、「いいえ」を選択して［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止できます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

戻る

メニューを終了します。

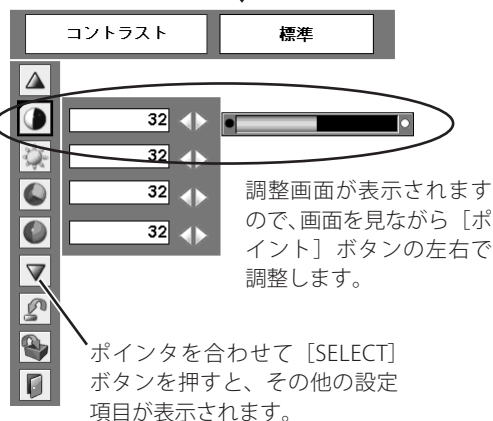
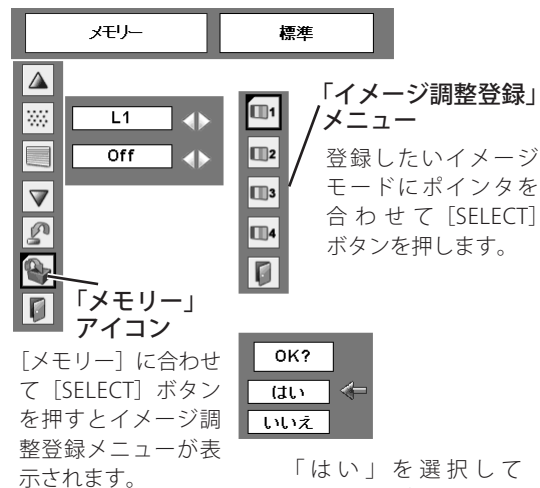
イメージの調整

コントラスト
Auto
「イメージ調整」メニューアイコン
項目にポインタを移動させ、［SELECT］ボタンを押します。

コントラスト
標準
32
32
32
32
調整画面が表示されますので、画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で調整します。
ポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押すと、その他の設定項目が表示されます。

調整内容の登録（メモリー）

メモリー
標準
L1
Off
「イメージ調整登録」メニュー
登録したいイメージモードにポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。
「メモリー」アイコン
［メモリー］に合わせて［SELECT］ボタンを押すとイメージ調整登録メニューが表示されます。
OK?
はい
いいえ
「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了します。

項　目

項目の値は、［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる　（0 ～ 63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる　（0 ～ 63）

色の濃さ

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる　（0 ～ 63）

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる　（0 ～ 63）

＜ご注意＞
※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」は調整できません。

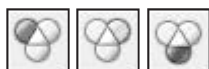
色温度

◀ 超低（赤みがかる）　▶ 高（青みがかる）（超低 – 低 – 中 – 高）

＜ご注意＞
※「色温度」を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか一つでも）の調整をすると「色温度」には「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ 薄くなる　▶ 濃くなる　（各色 0 ～ 63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり　（0 ～ 15）

ガンマ補正

白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
（0 ～ 15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ざらつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズの無い映像を見るときには「オフ」に設定してください。

L 1 ・・・ノイズリダクション：弱

L 2 ・・・ノイズリダクション：強

< ご注意 >
※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択している場合には、「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの速い映像で残像が発生することがあります。以下のように設定してください。

・動きの速い映像（アクション映画やスポーツ）は「L1」（弱）。
・動きの遅い映像は「L2」（強）。

プログレッシブ

オフ ・・・・動きの多い映像でちらつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L 1 ・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L 2 ・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム ・・「3 - 2 プルダウン / 2 - 2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

< ご注意 >
※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択している場合には、「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを選択できます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい機能に合わせて［SELECT］ボタンで決定します。

ノーマル

通常の映像のアスペクト比 4：3 で投映します。

ワイド

DVD プレーヤーなどのワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

カスタム

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。「カスタム」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「カスタム」の表示（＊）が現れ、約４秒後「アスペクト調整」画面が表示されます。

＊「オンスクリーン表示・オフ（☛ 52 ページ）」のときは、「カスタム」を選択して［SELECT］ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

スケール　H/V

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケールを調整するときに「オン」を選択します。

※「スケール H」を調整すると、「スケール H」の数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。

ポジション　H/V

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

共通

調整した内容を全ての入力（「コンピュータ 1 / 2、ビデオ」）に反映します。［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録されます。

※ 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

リセット

調整した内容全てをリセットします。

［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押すとリセットされます。

＜「カスタム」のご注意＞

※「スケール H/V」と「ポジション H/V」は、入力信号によっては補正量が変わることがあります。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。

※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。

※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

スクリーンメニュー

ノーマル　Auto

「スクリーン」メニューアイコン

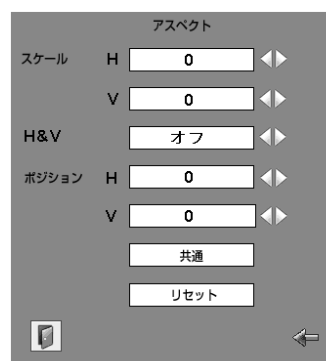
選択したい機能のアイコンにポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。

＜「ワイド」のご注意＞

※「インプット」メニューで「コンポーネント」を選択して「システム」メニューで 1080i、1035i、720p の信号（アスペクト比 16：9）を選択している場合には、「ワイド」は選択できません。

カスタムのアスペクト調整画面

アスペクト

スケール	H	0
	V	0
H&V		オフ
ポジション	H	0
	V	0
		共通
		リセット

※［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［ポイント］ボタンの左右で値を調節します。

詳細な設定

「セッティング」メニューで各種機能を設定する

プロジェクターの各種機能を設定します。

言語 . . . . メニューの言語を選択します。
オートセットアップ . . . . 自動で調整される機能の動作を設定します。
キーストーン. . . . . 台形ひずみを補正します。
ブルーバック. . . . . 無信号時の背景を選択します。
オンスクリーン表示 . . . . 画面表示を出す、出さないを選択します
ロゴ . . . . ロゴの選択や画面キャプチャー、ロゴの暗証番号を設定します。
天吊り . . . . 天井から逆さに吊り下げて設置する場合に設定します。
リア投映. . . . . スクリーンの後ろから投映する場合に設定します
自動入力切換. . . . . 自動入力切換の動作を設定します。
スタンバイモード . . . . プロジェクターをネットワークで操作するときに設定します。
パワーマネージメント . . . . 省エネの設定をします。
オンスタート. . . . . 電源コードを接続するだけでオンできるように設定します。
ランプコントロール . . . . ランプの明るさを設定します。
ポインタ. . . . . ポインタ機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。
リモコンコード . . . . リモコンコードを設定します。
セキュリティ. . . . . 操作ボタンのロックと暗証番号を設定をします。
ファン . . . . 電源 OFF 後のファン動作を設定します。
ファン制御 . . . . ファンの回転速度を設定します。
警告履歴. . . . . 本体に異常があったときの警告履歴を表示します。
ランプカウンター . . . . ランプの使用時間の確認またはリセットを行ないます。
フィルターカウンター . . . . フィルターの使用時間の確認またはリセットを行ないます。
初期設定. . . . . 設定を工場出荷状態に戻します。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせて［SELECT］ボタンで決定します。選択した項目の設定画面が表示されます。

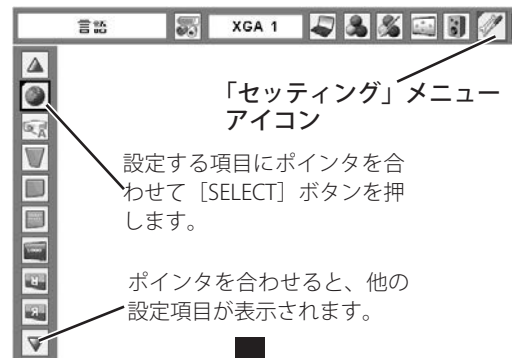
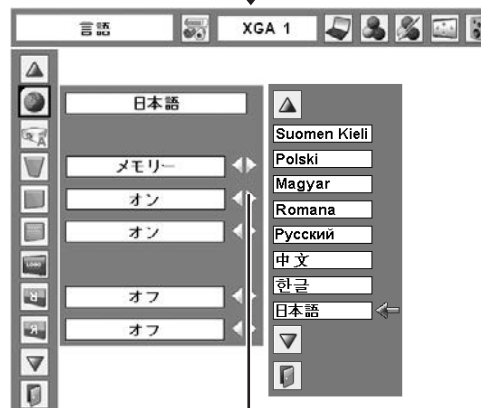
セッティングメニュー

項　目

言　語

画面表示の言語を切り換えます。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の 16 か国語から選択できます。

1 ポインタを「言語」メニューに合わせて［SELECT］ボタンを押すと言語メニューが表示されます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを移動させ、設定したい言語にポインタを合わせて［SELECT］ボタンで決定します。なお、上下の三角アイコンにポインタを合わせると、前後の項目が表示されます。

選択したい項目にポインタを合わせて［ポイント］ボタンの左右で設定します。
（図では「言語」が選択され、言語メニューが表示されています）

オートセットアップ

本体の操作パネルの［AUTO SETUP］ボタンで自動調整する項目を設定します。設定できる項目は、「自動 PC 調整」と「オートキーストーン」です。

自動 PC 調整

オンとオフを切り換えます。（☛35 ページ）

オートキーストーン

画面の台形ひずみを自動で補正します。以下の３通りに設定できます。（☛ 28 ページ）

自 動・・・・プロジェクターを傾けると、常にオートキーストーンが働きます。

手 動・・・・リモコンと本体の［AUTO SETUP］ボタンを押したときだけ、オートキーストーンが働きます。

オ フ・・・・オートキーストーンは働きません。

＜ご注意＞
※「天吊り」機能がオンのときは、オートキーストーンは働きません。
※ 設置の状況によっては、オートキーストーンが完全に働かない場合があります。その場合には、手動で補正してください。
※「自動 PC 調整」機能と「オートキーストーン」機能は、両方を同時にオフには設定できません。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正します。ポイントボタンの左右で「リセット」または「メモリー」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、メニュー表示が消えて「キーストーン」が表示されます。［ポイント］ボタンの上下で台形ひずみを補正します。「メモリー」と「リセット」の詳細は以下のとおりです。

メモリー・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶しています。

リセット・・・電源コードを抜くと、調整した状態が解除されます。

＜ご注意＞
※「キーストーン」が表示されている間に［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーンで補正した画面は、信号をデジタル圧縮して投映しますので、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。また、信号の種類によっては、補正量に制限があります。

ブルーバック

無信号のときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」に設定すると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずに、ブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す、出さないの設定を行ないます。

オン

・・・すべての画面表示が表示されます。

カウントダウン オフ

・・・電源オン後の 30 秒のカウントダウン表示を行なわず、ランプが暗いままで、入力された画面を投映します。
少しでも早く画像を投映したいときに選択します。

オフ

・・・以下の表示以外は画面表示を行ないません。

- ・メニューバー（☛ 32 ページ）
- ・電源を切る際の「もう一度押すと電源が切れます」
- ・P-TIMER（☛ 29 ページ）
- ・自動 PC 調整時の「しばらくお待ちください」
- ・パワーマネージメントのカウントダウンタイマー（☛ 27、56 ページ）
- ・画面サイズが大きいときに表示される「△」（☛ 41 ページ）

ロゴ

ロゴの選択や、ロゴに使用する画面のキャプチャー、ロゴの暗証番号の設定を行ないます。

< ご注意 >

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」の場合には、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときに表示されるロゴ（スタートアップロゴ）を選択できます。

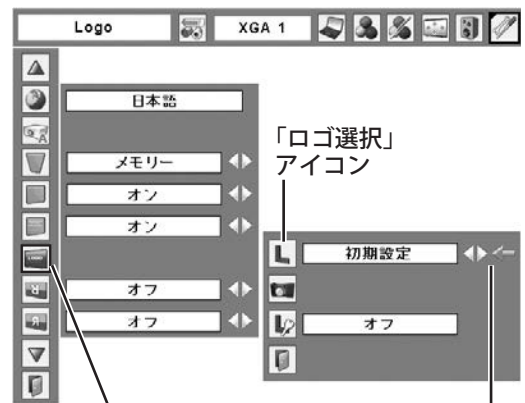
ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ロゴを表示しません。

< ご注意 >

※ 一度も画面をキャプチャーしていないときは、「ユーザー」の選択肢は表示されません。

ロゴ選択

キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。取り込んだ画像をスタートアップロゴにするには、「ロゴ選択」で「ユーザー」を選択してください。

1 ポインタを「キャプチャー」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと「はい」「いいえ」の選択肢が表示されます。

はい ・・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ ・・・キャプチャー機能を取り消します。

2「はい」を選択すると画面の取り込みが始まり、取り込みの進行を示すバーが表示されます。取り込みが完了するとバーの表示が消えます。取り込みを中止したい場合には、「戻る？」の画面で「はい」を選択して［SELECT］ボタンを押します。なお、「はい」を選択して取り込みを中止すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像も消去されますのでご注意ください。

＜ご注意＞

※「ユーザー」に保存できるのは1画面だけです。

※ 適切な画面を取り込むために、［イメージモード］は［標準］を選択しておいてください。

※ 無信号のときは「キャプチャー」機能は働きません。

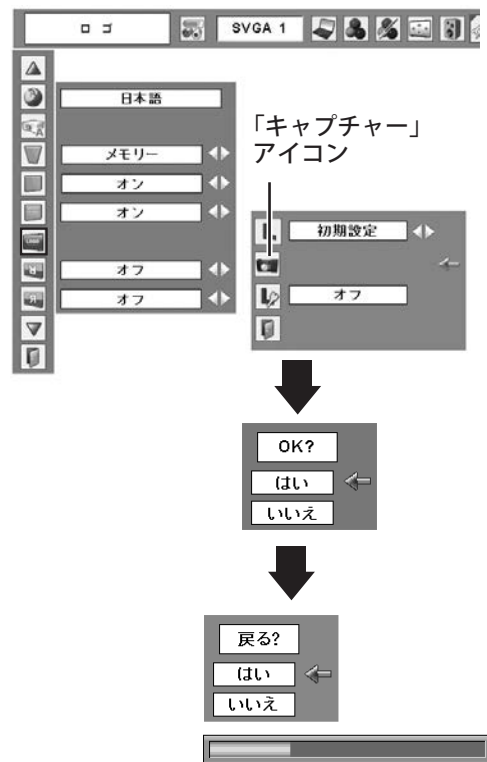
※ 画像を取り込む際には、「キーストーン」調整、「カスタム」調整が一時的に解除されます。

※ この機能が使えるのは、入力信号が以下のときだけです。

◎コンピュータ…XGA（1024 × 768）以下
ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、
「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可。

◎ビデオ…………Video/S-video、コンポーネント、RGB。ただし、RGB とコンポーネントは 480p、575p、480i、575i のみ可。

キャプチャー

ロゴ　SVGA 1
日本語
メモリー
オン
オン
オフ
オフ
「キャプチャー」アイコン
初期設定
オフ
OK?
はい
いいえ
戻る?
はい
いいえ

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」に暗証番号を設定し、暗証番号を知っている管理者以外はロゴを変更できないように設定することができます。

オン ・・・ 暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」を設定、変更することはできません。

オフ ・・・ 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」を設定、変更することができます。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを［ロゴ暗証番号ロック］に合わせて［SELECT］ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※「オン」「オフ」どちらを選択していても、暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。入力が完了したらポインタを［セット］に合わせて［SELECT］ボタンを押し、暗証番号を承認します。暗証番号の入力方法の詳細については、次ページをご参照ください。

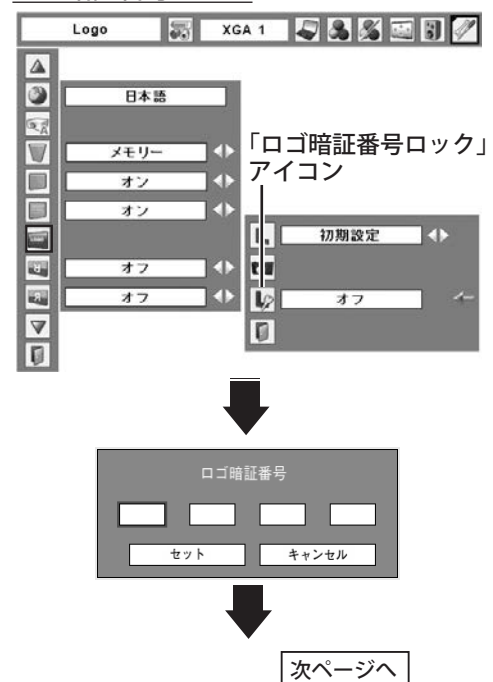
3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更が行なえる画面が表示されます。「オン・オフ」は、［ポイント］ボタンの左右で切り換え、選択します。暗証番号の変更方法は次ページをご参照ください。

4 終了するときは、ポインタを ［アイコン］ に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

ロゴ暗証番号ロック

Logo　XGA 1
日本語
メモリー
オン
オン
オフ
オフ
「ロゴ暗証番号ロック」アイコン
初期設定
オフ
ロゴ暗証番号
セット
キャンセル

次ページへ

詳細な設定

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、［ポイント］ボタンの右でポインタを次の桁に移動させます。
一桁目の数字が「＊」に変わります。
この操作を繰り返し、４桁全ての数字を入力します。

2 ４桁全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタンの右で「セット」に移動し、［SELECT］ボタンを押して決定します。

3 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニュー（右図＃）が表示されます。

＜ご注意＞
※ 工場出荷時の「ロゴ暗証番号」の暗証番号は「４３２１」です。初めて暗証番号を設定するときには、「４３２１」と入力してください。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右で桁を選び、［ポイント］ボタンの上下で数字を入力し直します。
※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
・「ロゴ暗証番号」の文字と、入力した数字（見た目は＊）が、赤色で表示される。

前ページから

ロゴ暗証番号

＊ 2

セット キャンセル

ロゴ暗証番号

＊ ＊ ＊ ＊

セット キャンセル

設定画面へ

#

ロゴ 暗証番号 ロック　オン

ロゴ暗証番号変更

暗証番号の変更方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。

2 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、［ポイント］ボタンの右でポインタを次の桁に移動させます。この操作を繰り返し、４桁全ての数字を入力します。

※ 入力した数字は「＊」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

3 ４桁全ての数字を入力したら、ポインタを［ポイント］ボタンの右で「セット」に移動し、［SELECT］ボタンを押して決定します。

4「OK ？」の確認メッセージが表示されますので、「はい」にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニュー（右図＃）に戻ります。
（ポインタは に移動します）

＜ご注意＞
※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択して［SELECT］ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面（右図＃）まで戻ります。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右で桁を選び、［ポイント］ボタンの上下で数字を入力し直します。
※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
・「新ロゴ暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される。

新ロゴ暗証番号

セット キャンセル

新ロゴ暗証番号

2 1

セット キャンセル

新ロゴ暗証番号

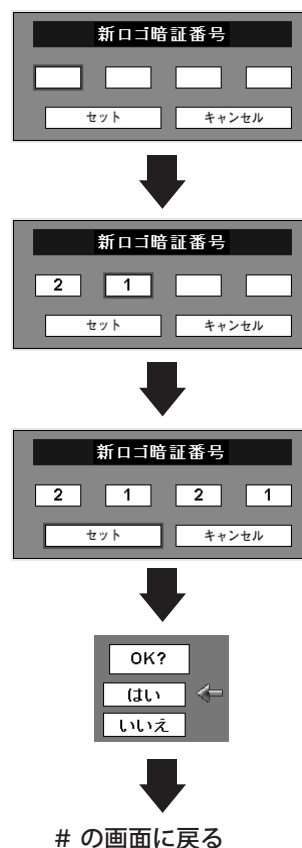
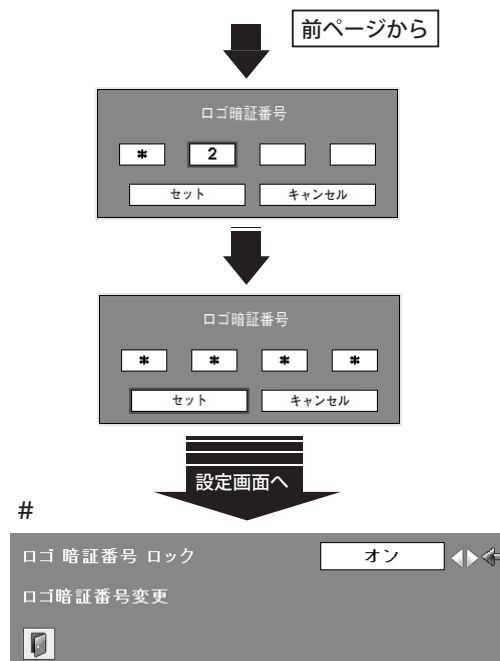
2 1 2 1

セット キャンセル

OK?

はい

いいえ

＃の画面に戻る

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右が反転して投映されます。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天吊り機能

オフ（通常の画像）　オン（天吊り設定時）

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右が反転して投映されます。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

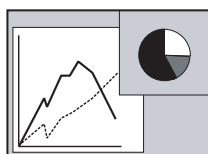
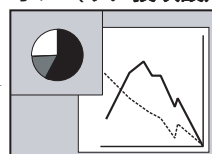
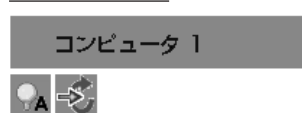
リア投映機能

オフ（通常の画像）　オン（リア投映設定時）

自動入力切換

入力信号の有無を検出し、入力があるインプットモードに自動的に設定する機能です。「自動入力切換」が作動しているときには、画面に右図のメッセージが表示され、作動中であることをお知らせします。「自動入力切換」は、以下の３通りに設定できます。

自動入力切換

コンピュータ 1

※ 入力モード名は、検出処理中の入力モード順に表示が切り換わります。

オ フ ・・・「自動入力切換」は作動しません。

オン１ ・・・「オン１」に設定すると、本体操作パネルの［INPUT］ボタン、またはリモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタンを押して入力を切り換えたときに、「自動入力切換」が作動します。

オン２ ・・・以下のときに「自動入力切換」が作動します。

① リモコンまたは本体操作パネルの［I/⏻ (ON /STAND-BY)］ボタンを押してプロジェクターの電源を入れたとき。
ただし、「暗証番号ロック」を「オン」に設定しているときは、暗証番号を入力しても「自動入力切換」は作動しません。

② 本体の操作パネルの［INPUT］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、または［VIDEO］ボタンを押して入力を切り換えたとき。

③ プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなった（無信号になった）とき。
ただし、オンスクリーンメニューの表示中に無信号になった場合には、「自動入力切換」は作動しません。また、「FREEZE」機能や「NO SHOW」機能の作動中に無信号になったときは、それらの機能が解除されたら、入力の検出を開始します。

< ご注意 >

※「自動入力切換」の作動中は、本体操作パネルの［INPUT］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタン、［NETWORK］ボタン以外の操作は行なえません。また、「自動入力切換」の作動中にそれらのボタンを押すと、検出を停止します。

※ ネットワーク入力には対応していません。

※ RGB 入力は、セパレートシンクにのみ対応しています。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

スタンバイモード

プロジェクターをネットワークで操作するときに使います。
詳しくは、別冊の取扱説明書を参照してください。

ノーマル

プロジェクターの電源を切っても、プロジェクターのネットワーク部に電源が供給されています。以下の操作が可能です。

・ネットワークを使って、プロジェクターの電源を入・切
・電源が切れた状態でのプロジェクターのネットワーク環境の操作
・E-mail 機能でプロジェクターの状態を受信

エコ

プロジェクターの電源を切るとプロジェクターのネットワーク機能が止まります。「ノーマル」よりも待機電力が小さくなります。プロジェクターをネットワークで使用しない場合には、こちらを選択してください。

＜ご注意＞
※ ご使用の環境の温度によっては、スタンバイ状態であっても冷却ファンが回転します。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。また、パワーマネージメント機能が作動するまでの時間を設定できます。
パワーマネージメント機能の詳細については、27 ページを参照してください。

オフ・・・・・・・パワーマネージメント機能を解除します。

待機・・・・・・・タイマーで設定した時間が経過すると、いったんランプが消灯してランプの冷却動作に入ります。この間、［POWER］インジケータは赤色で点滅し、操作できないことをお知らせします。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑色で点滅して、パワーマネージメントモードになっていることをお知らせします。信号が入力されたり操作を行なうと、ランプが点灯してすぐに画像が投映されます。

シャットダウン・・タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯し、電源が切れます。

パワーマネージメント

［ポイント］ボタンの右で「オフ」–「待機」–「シャットダウン」の順に切り換わります。

「パワーマネージメント」アイコン
［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

タイマー設定について

［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が作動するまでの時間を設定します。設定できる時間は 1 分から 30 分です。この時間は、無操作、無入力が 30 秒続くと画面右下にカウントダウンが表示されます。

タイマー表示

＜ご注意＞
※ 工場出荷時は、「待機・5 分」に設定されています。
※「FREEZE」機能（29 ページ）や「NO SHOW」機能（29 ページ）の作動中は、パワーマネージメントは作動しません。
※ パワーマネージメントが作動すると、「P-TIMER」（29 ページ）はリセットされます。

オンスタート

電源コードをコンセントに接続すると、リモコンまたは本体操作パネルの［I/⏻（ON / STAND-BY)］ボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源が入る機能です。

オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源入・切をする設定です。
電源コードを接続しても、リモコンまたは本体操作パネルの［I/⏻（ON / STAND-BY)］ボタンを押さないと、プロジェクターの電源は入りません。

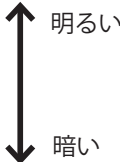
< ご注意 >
※ 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

電源のオン・オフは正しい操作で行なってください。
ランプの冷却が終わり、ランプが再点灯できる状態になるまでは、リモコンまたは本体操作パネルの［I/⏻（ON / STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。

ランプコントロール

ランプの明るさを「オートモード」「高（ハイ）モード「ノーマルモード」「エコモード」から設定できます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

- オートモード ・・・調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- 高（ハイ）モード ・・・最も明るい設定です。
- ノーマルモード ・・・高（ハイ）モードとエコモードの中間の明るさです。
- エコモード ・・・明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。

明るい ↕ 暗い

< ご注意 >
※［ポイント］ボタンの右を押すたびに、以下の順に表示が切り換わります。

A → → →
（明るい・・・・・・・・・・・・暗い）

ポインタ

この機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。なお、「ポインタ」機能の操作については66ページを参照してください。

1 ポインタを「ポインタ」アイコンに合わせて［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

2 ポインタを［ポイント］ボタンの上下で「スポットライト」または「ポインタ」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。チェックマークが付き、「ポインタ」機能を使うときに表示されるポインタに設定されます。

3 ［ポイント］ボタンの左右でスポットライトの大きさやポインタの種類を選択します。

スポットライト ： **小・中・大**

ポインタ ： **指先・矢印・ドット**（赤点）

ポインタ

「ポインタ」アイコン

［SELECT］ボタンを押すとチェックマークが付き、「ポインタ」機能時に表示されるポインタに設定されます。

リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」〜「コード8」）の設定が可能です。本機を複数台でご使用の場合には、リモコンコードを別々に設定しておくと誤動作を防止できます。
プロジェクター本体のリモコンコードは、「セッティング」メニューの「リモコンコード」で、設定するリモコンコードを選択します。なお、リモコンのリモコンコードの設定は、別途リモコンで行ないます。（☛18ページ）

＜ご注意＞
※工場出荷時は「コード1」に設定されています。
※プロジェクター本体のリモコンコードと、リモコンのリモコンコードは、同じコードに合わせる必要があります。

リモコンコード

「リモコンコード」アイコン

設定したいコードに合わせて［SELECT］ボタンを押します。

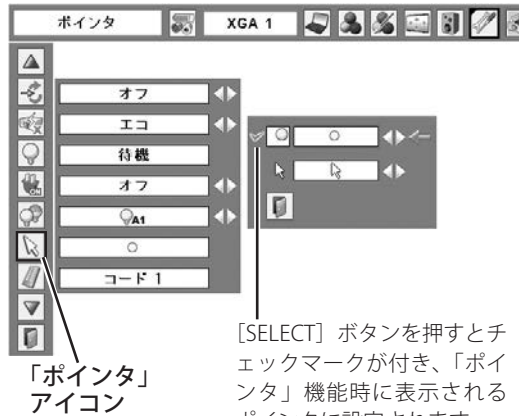
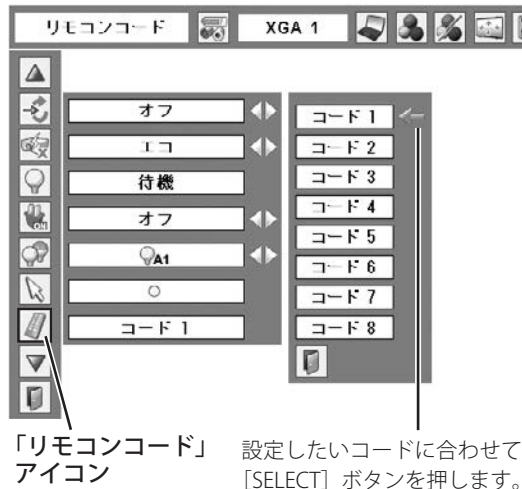
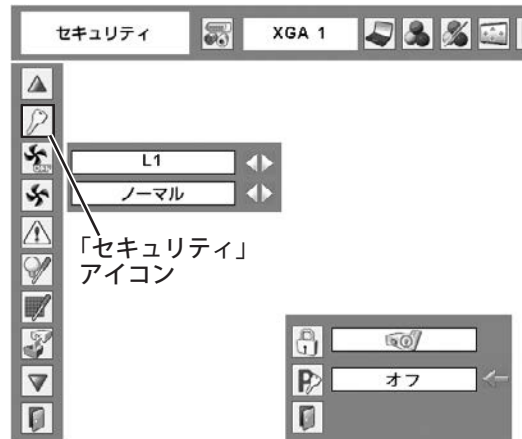
セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする機能です。設定の詳細については、次ページ以降の各項目の説明を参照してください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が表示されます。

※各項目の説明は次ページへ

セキュリティ

「セキュリティ」アイコン

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されないようにします。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・ キーロックは「オフ」の状態です。

・・・ 操作パネルからの操作をロックします。

・・・ リモコンからの操作をロックします。

< ご注意 >
※ 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。
※ 解除できなくなったときには、お買い上げの販売店へご相談ください。

手　順

前ページの「*1*」に続いて、

2 ポインタを「キーロック」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

3 ポインタをいずれかに合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「OK ?」の確認画面が表示されます。

4 ［はい］を選択して［SELECT］ボタンを押すと登録が完了し、設定画面に戻ります。
（※）設定する項目を選び直すときには、「いいえ」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと選択画面に戻ります。

キーロック

セキュリティ　XGA 1　L1　ノーマル　オフ　OK?　はい　いいえ

［ポイント］ボタンの上下で「キーロック」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外の方がプロジェクターを操作できないようにします。設定により、以下のモードが選択できます。

オ フ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。

オン1 ・・・ 電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン2 ・・・ 一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンまたは本体操作パネルの［I/⏻（ON / STAND-BY）］ボタンで電源を入・切するだけで電源コードを抜かない場合には、暗証番号は要求されずに通常の操作を行なうことができます。

手　順

前ページの「*1*」に続いて、

2 ポインタを「暗証番号ロック」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が表示されます。

3 暗証番号を入力します。暗証番号の入力方法は次ページを参照してください。

4 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オフ・オン1・オン2」の設定と、暗証番号を変更できる画面が表示されます。
「オフ・オン1・オン2」は、［ポイント］ボタンの左右で切り換えて選択します。
暗証番号の変更方法は、次ページを参照してください。

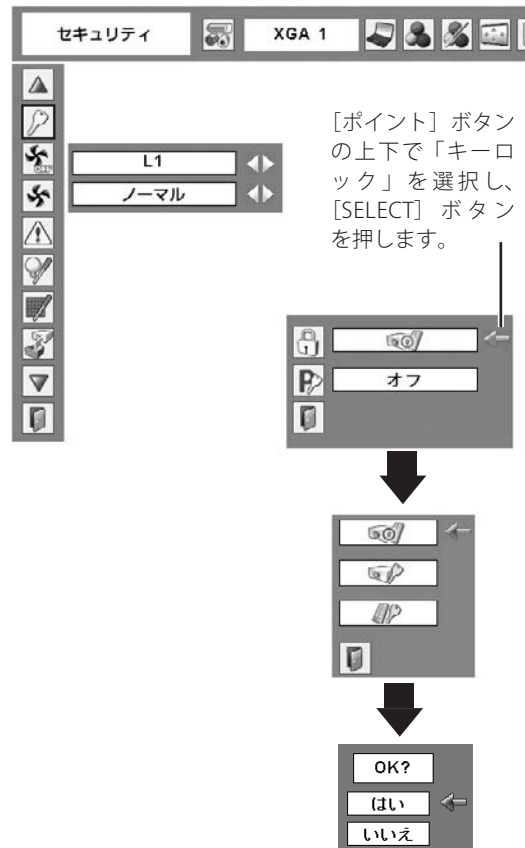
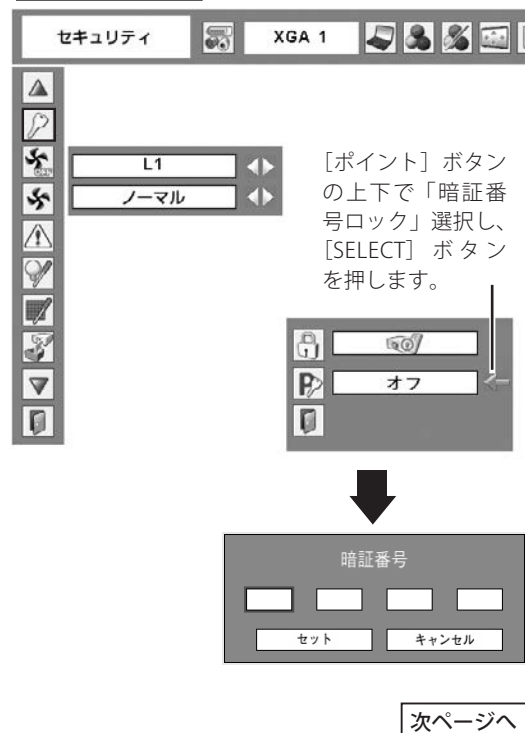
5 終了するときは、［ポイント］ボタンの下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号ロック

セキュリティ　XGA 1　L1　ノーマル　オフ

［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号ロック」選択し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号　セット　キャンセル

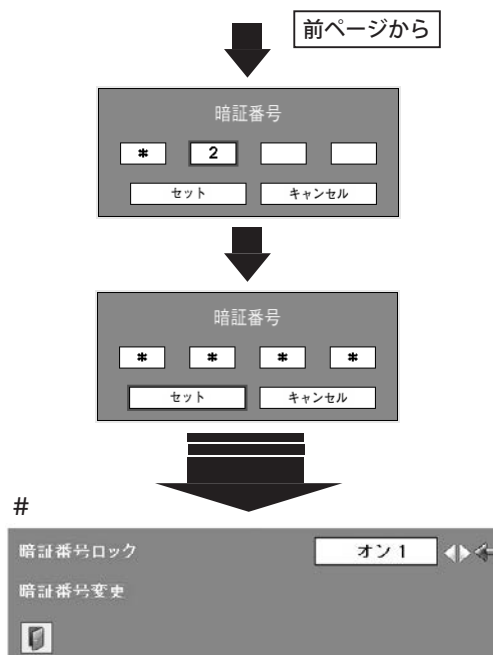
次ページへ

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で０〜９の数字を選択し、［ポイント］ボタンの右でポインタを次の桁に移動します。
一桁目の数字が「＊」に変わります。
この操作を繰り返し、４桁全ての数字を入力します。

2 ４桁全ての数字を入力したら、ポインタを［ポイント］ボタンの右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

3 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。

＜ご注意＞
※ 工場出荷時の「暗証番号」の暗証番号は「１２３４」です。初めて暗証番号を設定するときには、「１２３４」と入力してください。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右で桁を選び、［ポイント］ボタンの上下で数字を入力し直します。
※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
・「暗証番号」の文字と、入力した数字（見た目は＊）が、赤色で表示される。

前ページから

暗証番号の変更方法

1 「暗証番号ロック」の選択メニューで、［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。

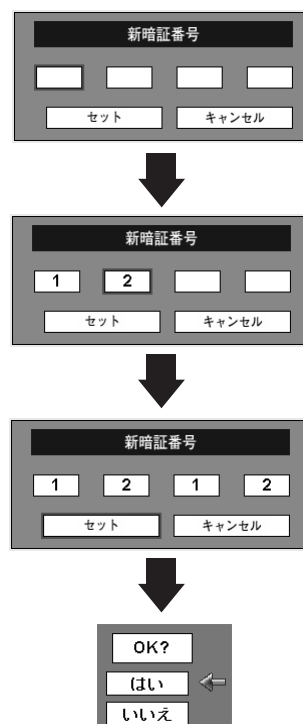
2 ［ポイント］ボタンの上下で０〜９の数字を選択し、［ポイント］ボタンの右でポインタを次の桁に移動させます。この操作を繰り返し、４桁全ての数字を入力します。

※ 入力した数字は「＊」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

3 ４桁全ての数字を入力したら、ポインタを［ポイント］ボタンの右で「セット」に移動させます。［SELECT］ボタンを押して決定します。

4 「OK ？」の確認メッセージが表示されますので、「はい」にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5 ［暗証番号ロック」の選択メニュー（右図＃）に戻ります。
（ポインタは に移動します。）
メニューバーには、暗証番号ロックの「オン１」「オン２」いずれかが選択されていることを示す表示が出ます。

＜ご注意＞
※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択して［SELECT］ボタンを押します。「暗証番号変更」メニューの画面（右図＃）に戻ります。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右で桁を選び、［ポイント］ボタンの上下で数字を入力し直します。
※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
・「新暗証番号」の文字と、入力した数字が、赤色で表示される。

暗証番号ロックの表示

※「暗証番号ロック」の「オン１」「オン２」いずれかが選択されていることを表しています。

ファン

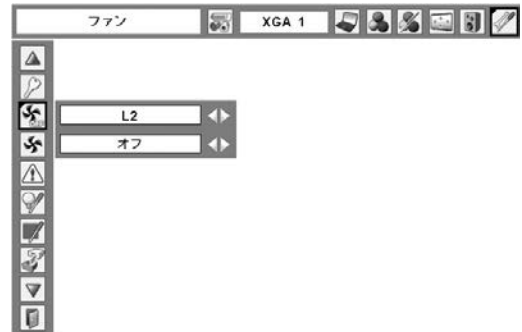
電源を切ったあとの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

L 1 ・・・自動でファンの回転速度を調整します。
「L 2」よりも大きな音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投映時よりもファンの音が気になる場合があります。

L 2 ・・・ファンの回転速度を投映時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L 1」よりファンの停止に時間がかかります。

< ご注意 >
※ 工場出荷時は、「L 2」に設定されています。

ファン

ファン XGA 1
L2
オフ

ファン制御

投映時の冷却ファンの回転速度を設定できます。

オ フ ・・・通常の回転速度です。

オン 1 ・・・海抜約 1200m 付近の場所で使用するときに設定します。

オン 2 ・・・「オン 1」の海抜を越える場所で使用するときに設定します。

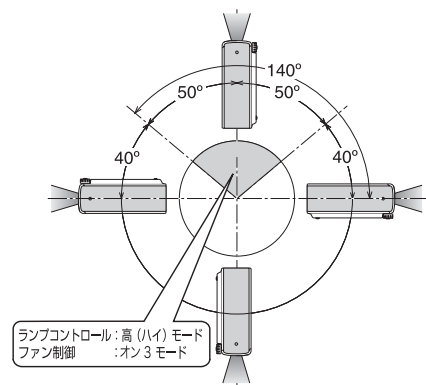
オン 3 ・・・海抜約 1600m までの場所で、水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲でプロジェクターを上向きに設置するときに設定します。
詳しくは下記を参照してください。

上向き方向でのランプコントロールとファン制御の設定

海抜約 1600m までの場所で、右図のようにプロジェクターを水平面からの角度が 40 度から 140 度の範囲で上向きに設置するときは、ランプの保全のために「セッティング」メニューの「ランプコントロール」（☛ 56 ページ）を「高（ハイ）」モードに、「ファン制御」（☛ 59 ページ）を「オン 3」モードにしてください。

さらに高地で使用する場合は、設置角度にかかわらず、「ファン制御」を「オン 2」モードにして使用してください。

上向き方向に設置するときの注意

140°
50°
50°
40°
40°
ランプコントロール：高（ハイ）モード
ファン制御　　　：オン 3 モード

警告履歴

プロジェクターが表示した警告が、最新のものから 10 件表示されます。

< ご注意 >

※ 履歴が 10 件を超えると、古いものから順に削除されます。

※「初期設定」を実行すると全て削除されます。

警告履歴

最新の警告が表示されます。

過去の履歴が表示されます。

ランプカウンター

ランプカウンター（実使用時間）が表示され、リセットを行なうことができます。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると、本体の操作パネルにある［LAMP REPLACE］インジケータ（黄色）の点灯が消えます。

ランプカウンターのリセット方法

注意 ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が表示されます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

3「ランプカウンターリセット？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。

4 さらに、「OK ？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。
ランプカウンターがリセットされます。

ランプカウンター

※

※ ランプカウンター（実使用時間）が表示されます。
ランプ交換推奨時間に達するとランプカウンターの時間表示が赤色になります。
また、ランプカウンターがリセットされるまで赤色で表示され続けます。

ランプの交換をお知らせする表示について

ランプ点灯中にランプ交換推奨時間が 100 時間未満になったとき、画面右上に表示されます。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき（25 ページ）

・「インプットモード」を切り換えたとき

ランプ交換

ランプ点灯中にランプ交換推奨時間が 0 時間になったとき、画面右上に表示されます。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき（25 ページ）

・「インプットモード」を切り換えたとき（アイコンのみ表示）

< ご注意 >

※「オンスクリーン表示・オフ」（52 ページ）に設定している場合には表示されません。

※「FREEZE」機能、「NO SHOW」機能が動作しているときには表示されません。

※ ランプカウンターをリセットすると表示されなくなります。

フィルターカウンター

フィルターカウンター（実使用時間）が表示され、リセットを行なうことができるほか、エアフィルターの掃除時期を知らせる時間を設定できます。エアフィルターの掃除または交換後は、必ずフィルターカウンターをリセットしてください。
エアフィルターの掃除方法については 69 ページを参照してください。

タイマーの設定

エアフィルターの掃除のお知らせを表示させるまでの時間を設定します。（オフ / 100 時間 / 200 時間 / 300 時間）
［ポイント］ボタンの左右で切り換えます。

< ご注意 >
※ 工場出荷時は「200 時間」に設定されています。

フィルターカウンターのリセット方法

⚠ **注意** フィルターを掃除したとき、または交換したとき以外はリセットしないでください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

2 エアフィルターの使用時間と、カウンターをリセットする項目が表示されます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

3 ［フィルターカウンターリセット？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。

4 さらに、「OK ？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。
フィルターカウンターがリセットされます。

エアフィルターの掃除をお知らせする表示について

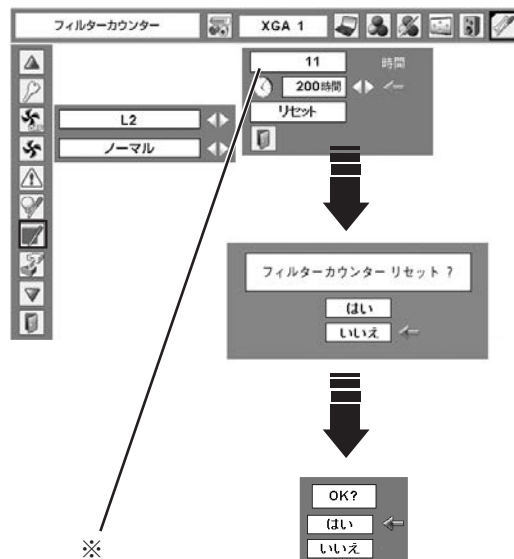
フィルター警告

投映中にタイマーで設定した時間（工場出荷時は 200 時間）を越えたときに表示されます。また、設定時間を越えた後に電源を入れたときにも表示されます。

タイマーの設定時間を越えた後で「インプットモード」を切り換えたときに表示されます。

< ご注意 >
※「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 52 ページ）に設定している場合には表示されません。
※「FREEZE」機能や「NO SHOW」機能が動作しているときには表示されません。
※ フィルターカウンターをリセットすると表示されなくなります。

フィルターカウンター

フィルターカウンター　XGA 1
L2
ノーマル
11　時間
200時間
リセット
フィルターカウンター リセット ？
はい
いいえ
OK?
はい
いいえ
※

※ フィルターカウンター（実使用時間）が表示されます。
タイマーで設定した時間に達するとフィルターカウンターの時間表示が赤色になります。また、フィルターカウンターがリセットされるまで赤色で表示され続けます。

初期設定

下記の設定をのぞく全ての設定を工場出荷状態に戻します。（※）

- ・ランプカウンター（点灯時間）
- ・フィルターカウンター（使用時間）
- ・ロゴ暗証番号ロック
- ・暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ

また、上記の設定は、電源コードを抜いても有効です。

⚠ 注意 「初期設定」を実行すると、お客様が設定した設定内容はすべて失われ、工場出荷状態に戻ります。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「初期設定」に合わせて［SELECT］ボタンを押します。

2 「初期設定へ戻しますか？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。

3 「OK ？］の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて「SELECT」ボタンを押します。
設定が工場出荷時に戻ります。

< ご注意 >

※「Wireless / Wired」の設定も工場出荷時に戻ります。詳しくは別冊の取扱説明書にてご確認ください。

初期設定

初期設定 XGA 1

L2

ノーマル

初期設定へ戻しますか ？

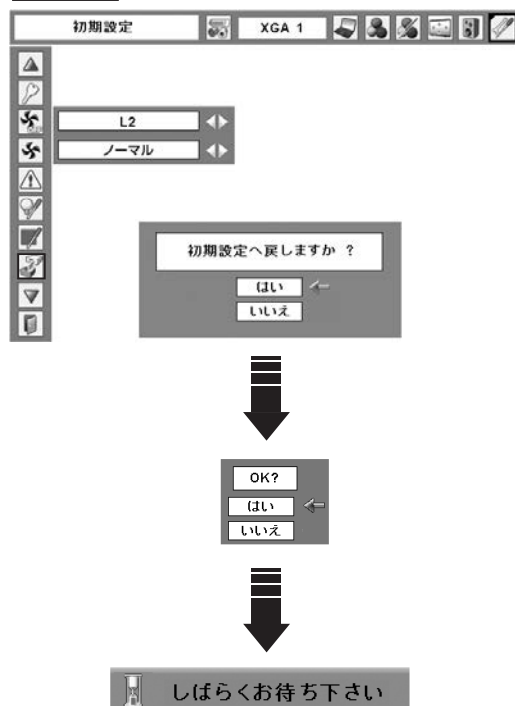
はい

いいえ

OK?

はい

いいえ

しばらくお待ち下さい

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンは、コンピュータのワイヤレスマウス、またはキーボードの一部としてお使いいただけます。

準備をしてください

はじめにコンピュータにUSB端子があることを確認してください。USB以外の端子ではご利用になれません。また、コンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。

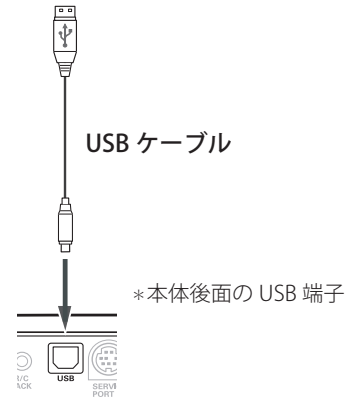
1 市販のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と本機のUSB端子＊を接続します。

2 USBケーブルを接続したら、先にプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

マウス機能を使うときは、以下を確認してください。

① 下記のコンピュータ入力が選択されていて、信号も送られている。
- 「コンピュータ１（アナログ）」
- 「コンピュータ１（デジタル）」の「RGB（PC digital）」
- 「コンピュータ１（デジタル）」の「RGB（AV HDCP）」
- 「コンピュータ２」の「RGB」

② 電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

USBケーブルの接続

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は［マウスポインタ］ボタン、［左クリック］ボタン、［R-CLICK（右クリック）］ボタンで行ないます。

マウスポインタボタン

マウスポインタの移動を行ないます。上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

R-CLICK（右クリック）ボタン

コンピュータマウスの右クリックの働きをします。

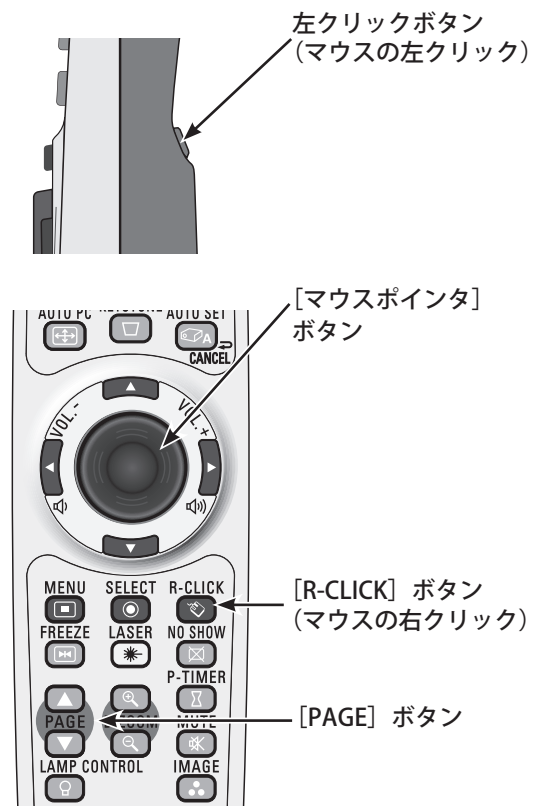
キーボードとしての使い方

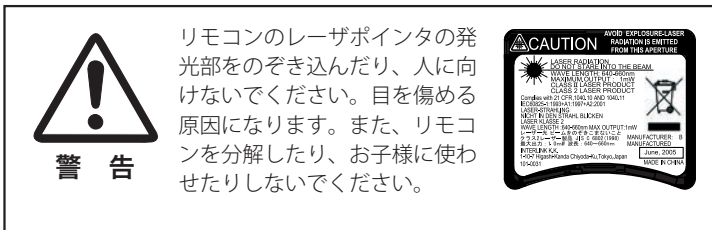
コンピュータのキーボードの代わりとして、「PAGE ▲」ボタン「PAGE ▼」でページ送りを行ないます。

PAGE ▲ボタン

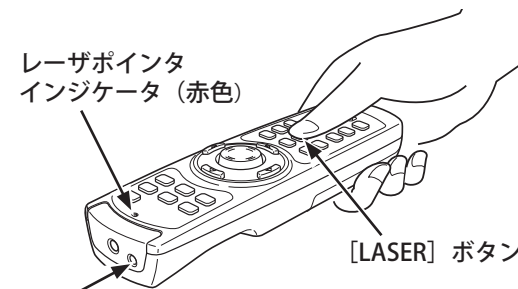
キーボードの「PAGE UP」ボタンの働きをします。

PAGE ▼ボタン

キーボードの「PAGE DOWN」ボタンの働きをします。

ポインタの操作

レーザポインタ

警 告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

レーザポインタ
インジケータ（赤色）

［LASER］ボタン

レーザポインタ発光部
レーザビーム（赤色）

リモコンの［LASER］ボタンを押している間、［レーザポインタ］インジケータ（赤色）が点灯し、リモコンのレーザポインタ発光部からレーザビームが出ます。（16 ページ）
ボタンを押すのを止めると、レーザビームの発光が止まります。

< ご注意 >

※［LASER］ボタンは、本体操作パネルにはありません。

※［LASER］ボタンを押し続けても、1 分たつと自動的にレーザビームの発光が止まります。

※［LASER］ボタンを押すのを止め、再び［LASER］ボタンを押すと、レーザビームが出ます。

スポットライト・ポインタ機能に切り換える

レーザビームをスポットライト、またはポインタ表示に切り換えることができます。

1 ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に 10 秒間押します。レーザポインタ機能からポインタ機能に切り換わります。

2 リモコンの［LASER］ボタンを押して、［LASER］ボタンが緑色に点灯するか確かめてください。緑色に点灯していれば、スポットライト、またはポインタが表示されます。［プレゼンテーション］ボタンで、スポットライトまたはポインタを画面上で移動させることができます。

※［LASER］ボタンが緑色に点灯せず、レーザビームが発光する場合は、ポインタ機能に切り換わっていません。［LASER］ボタンが緑色に点灯するまで、「*1*」の作業を行なってください。

3 スポットライトまたはポインタの表示を消すときは、リモコンをプロジェクターに向けて［LASER］ボタンを押します。リモコンの［LASER］ボタンの緑色の点灯も消えます。

※ スポットライトまたはポインタを表示させた後、30 秒間操作しなかった場合には、自動的にスポットライトまたはポインタの表示が消えます。

［プレゼンテーション］ボタン

［MENU］ボタン

［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約 10 秒押して切り換えます。

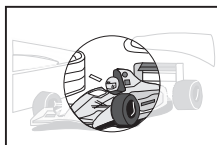
［NO SHOW］ボタン

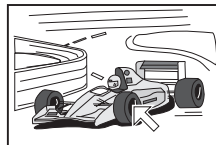
［LASER］ボタン

レーザポインタ機能 からポインタ機能に切り換わると、［LASER］ボタンはポインタ機能の ON-OFF スイッチになります。リモコンをプロジェクターに向けて［LASER］ボタンを押して、ボタンが緑色に点灯するか確認してください。

※ スポットライト、ポインタの大きさや形は、「セッティング」メニューの「ポインタ」で設定できます。（58 ページ）

※ レーザポインタ機能に戻す場合は、以下のどちらかの操作を行ないます。
- ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約 10 秒押す。
- ［RESET / ON / ALL-OFF］スイッチを［RESET］にセットする。
（このとき同時に、リモコンコードが「1」に戻ります）

スポットライト

小 ・ 中 ・ 大

ポインタ

指先・矢印・ドット
（赤点）

ランプの交換

LAMP REPLACE インジケータの点灯

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。［LAMP REPLACE］インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前にランプの寿命が尽きる場合もあります。

「ランプ交換」メッセージの画面表示

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）だけでなく、以下の表示でランプの交換時期をお知らせします。

ランプ点灯中にランプ交換推奨時間が 100 時間未満になったとき、画面右上に表示されます。
またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき（☛ 25 ページ）
・「インプットモード」を切り換えたとき

ランプ交換

ランプ点灯中にランプ交換推奨時間が 0 時間になったとき、画面右上に表示されます。
またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき（☛ 25 ページ）
・「インプットモード」を切り換えたとき（アイコンのみ表示）

＜ご注意＞
※ 上記の表示は、「オンスクリーン表示・オフ」（☛ 52 ページ）に設定している場合には表示されません。

ランプの交換方法

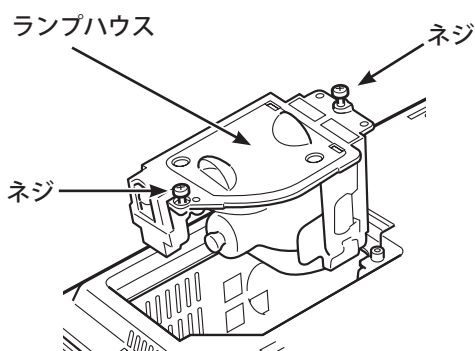
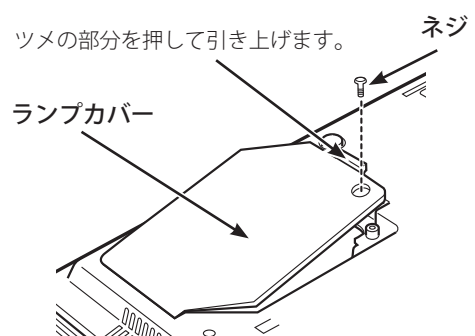
ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、以下のことをお知らせください。

・交換ランプの品番：POA-LMP111 (サービス部品コード：610 333 9740)
・プロジェクターの品番：LP-XU115

⚠注意 動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。
2. ランプカバーのネジをはずし、ツメの部分を押して引き上げてランプカバーをはずします。
3. ランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、取ってを持ってランプハウスごと引き出します。
4. 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込んで 2 本のネジを締めて固定します。
5. ランプカバーを取り付けて、ネジを締めて固定します。

ツメの部分を押して引き上げます。
ネジ
ランプカバー

ランプハウス
ネジ
ネジ

ランプのガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターのリセット

ランプ交換後は、必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると、［LAMP REPLACE］インジケータ（黄色）の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセット方法は、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照してください。

⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは、以下のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談窓口へプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで

ベンジンやシンナーなどでふきますと、変質したり塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ

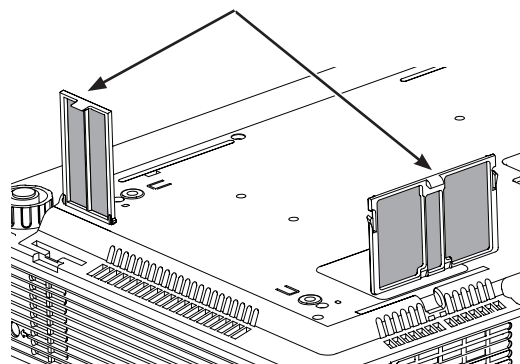
吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは、次ページを参照してください。）

エアフィルターはこまめに掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。（☛ 10 ページ）

1. プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。
2. プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上に引き上げて外します。
3. エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。
4. エアフィルターを取り付けます。
5. フィルターカウンターをリセットします。

＜ ご注意 ＞
フィルターの掃除または交換の後には、必ずフィルターカウンターをリセットしてください。フィルターカウンターのリセット方法は、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。
（☛ 63 ページ）

エアフィルター
中央のツメを上に引き上げて取り外します。

掃除の目安

一般的に約 200 時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。（水洗いはしないでください）それでも汚れが取れないときや、エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り換え用エアフィルター（別売）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り換え用エアフィルターの品番　側面：610 338 3682
後面：610 333 9290

⚠ お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

エアフィルターの掃除をお知らせする表示について

フィルター警告

投映中にタイマーで設定した時間（工場出荷時は 200 時間）を越えたときに表示されます。また、設定時間を越えた後で、電源を入れたときにも表示されます。（☛ 63 ページ）

タイマーの設定時間を越えた後で、「インプットモード」を切り換えたときに表示されます。

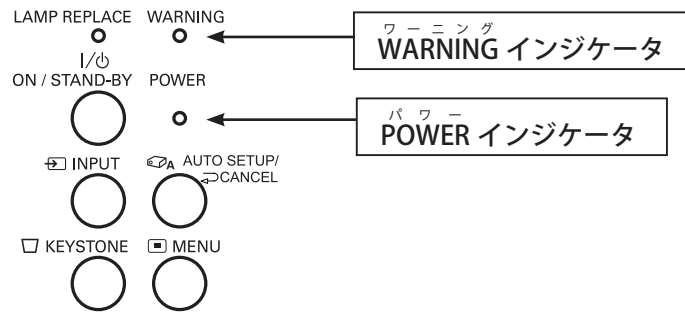
＜ ご注意 ＞
※「オンスクリーン表示・オフ」（☛ 52 ページ）に設定している場合には表示されません。
※「FREEZE」機能や「NO SHOW」機能が動作しているときには表示されません。

内部の温度上昇について

WARNING インジケータが点滅しているとき

本機内部の温度が高くなると［WARNING］インジケータ が赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、［POWER］インジケータが赤く点滅します。（［WARNING］インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると ［POWER］インジケータが赤く点灯し、リモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY）］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING］インジケータの点滅が消えます。

LAMP REPLACE　WARNING
I/⏻ ON / STAND-BY　POWER
INPUT　AUTO SETUP/CANCEL
KEYSTONE　MENU

WARNING（ワーニング）インジケータ
POWER（パワー）インジケータ

［WARNIG］インジケータの点滅が消えないときは、以下を確認してください。

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか？エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか？通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか？（使用温度範囲：5℃～ 35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING］インジケータが赤く点灯し始めます。このときリモコンまたは本体操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY）］ボタンでの電源の入、切はできなくなります。
このような時は、電源コードをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直して、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れて［WARNING］インジケータが点灯する場合には、お買い上げの販売店、または修理相談窓口にプロジェクターの点検をご依頼ください。また、電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがって各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
消灯	消灯	消灯	電源コードがコンセントから抜けています。
点滅：赤	消灯	※	ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、リモコンまたは本体の［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンを押して始動することはできません。
点灯：赤	消灯	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。リモコンまたは本体の［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押すと動作します。
点灯：緑	消灯	消灯	プロジェクターは正常に動作しています。
点滅：緑	消灯	※	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
点滅：赤	点滅：赤	※	プロジェクターの内部温度が高くなっています。リモコンまたは本体の［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［POWER］インジケータが点灯に変わります。（［WARNING］インジケータは点滅したままです。）リモコンまたは本体の［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。エアフィルターの点検などを行なってください。
点灯：赤	点滅：赤	※	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンまたは本体の［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、［WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
消灯	点灯：赤	※	プロジェクターの内部に異常が検出されました。リモコンまたは本体の［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。

··· **点灯：緑**　··· **点滅：緑**　··· **点灯：赤**　··· **点滅：赤**　··· **消灯**

※ ･･･［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかに新しいランプに交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。（☛ 62 ページ）

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	□ 電源コードは接続されていますか？	24
		□ 電源は入っていますか？リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。	25
		□［POWER］インジケータが消えているとき、または赤く点滅しているときは、［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源が 入りません。	25、27、71
		□［WARNING］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。	70、71
		□「キーロック」が働いていませんか？［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。	59
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	□「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	59
オープニング	オープニング画面が表示されない	□「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	52
	オープニング画面が初期設定の画像と違う	□「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	52
	インプットモードが自動的に切り換わる（切り換わらない）	□「自動入力切換」が「オン２」（または「オン１・オフ」）になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	55
	インプットモードとランプコントロールの表示以外の表示があらわれた	□ ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	62、63
画像・画質	画像が映らない	□ ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか？接続を確認してください。	21 ～ 23
		□ 電源を入れたあとの約 30 秒間はオープニング画面が表示され、画像は映せません。（「オンスクリーン表示：カウントダウンオフまたは、オフ」のときをのぞく）	25
		□ レンズキャップはとりましたか？	25
		□ 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか？	33、34、43、44
		□ 使用温度範囲（5℃～ 35℃）からはずれていませんか？	10
		□「NO SHOW」モードになっていませんか？本体操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押してみてください。	29
		□ コンピュータが外部出力に切り換わっていますか？出力の切り換えはコンピュータの取扱説明書を確認してください。	21
		□ コンピュータを再起動してください。	—

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質（つづき）	画像が不鮮明	□ フォーカスは合っていますか？フォーカスを合わせてください。	28
		□ スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか？	19
		□ スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	20
		□ 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラーに結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	10
		□ レンズが汚れたり、くもってはいませんか？レンズのお手入れをしてください。	68
	画像が暗い	□「コントラスト」や「明るさ」が､正しく調整されていますか？「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。	39 ～ 40 46 ～ 47
		□「イメージモード」が、正しく選択されていますか？「イメージモード」を確認してみてください。	38、45
		□ ランプコントロールが「エコモード」になっていませんか？「ノーマルモード」または「高（ハイ）モード」､「オートモード」にしてください。	30、57
		□ ランプの交換時期が来ていませんか？［LAMP REPLACE］インジケータの点灯はランプ交換をお知らせしています。新しいランプに交換してください。	62、71
	実際の色と違う 色がおかしい 色が出ない	□ 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか？	34、44
		□ イメージモードが「黒（緑）板」になっていませんか？リモコンの［IMAGE］ボタン、または「メニュー」から「イメージモード」を確認してください。	38、45
	映像が左右（上下）逆さまに映っている	□「天吊り」または「リア投映」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	55
	画像がゆがんだり、切れたりしている	□「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	35、41、49
音声	音が出ない	□ コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか？接続を確認してください。	21 ～ 23
		□ 音量が最小になっていませんか？［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	30
		□ 消音状態になっていませんか？［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。	30
		□［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていませんか？［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。	21 ～ 23
		□ 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか？抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	21 ～ 23
		□「インプット」で選択した信号の映像が投映されていますか？接続していても映像が投映されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	—

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコン	リモコンで操作できない	□ 電池は正しく入っていますか？＋－を正しく入れてください。	17 ～ 18
		□ 電池がなくなっていませんか？新しい電池と交換してください。	18
		□ 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか？リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。また、間に障害物があれば移動させてください。	18
		□ リモコンの［ALL OFF］スイッチが、「ON」側になっているか確認してください。	16
		□ リモコンの受信範囲からはずれていませんか？受信範囲で操作してください。	18
		□ リモコンコードを切り換えていませんか？リモコンコードを確認してください。	18
		□ ［R/C JACK］端子にケーブルが接続されていませんか？ケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとしては働きません。	16
		□「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか？操作パネルから「セッティング」を確認してください。	59
	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	□ USB ケーブルは正しく接続されていますか？	65
		□ 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか？ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。	65
		□ コンピュータ入力が選択されていますか？ワイヤレスマウスとして使えるのは、「コンピュータ 1（アナログ）」、あるいは「コンピュータ 1（デジタル）」の「RGB（PC digital）」、「RGB（AV HDCP）」、「コンピュータ 2」の「RGB」のいずれかが選択されているときです。	65
		□ 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。	65
設定・操作・調整	「自動 PC 調整」が働かない	□ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは「自動 PC 調整」は働きません。入力信号を確認してください。	35
		□「オートセットアップ」の設定で「自動 PC 調整」を「オフ」に設定していませんか？「セッティング」を確認してください。	51
		□ 入力信号がデジタルのとき、または「インプット」メニューで「Wired」「Wireless」を選択しているときは、「PC 調整」メニューは選択できません。	35
	表示されない機能がある	□「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	52
	電源を切る前の設定が残っていない	□ 項目の調整後「メモリー」登録を実行しましたか？調整後の項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。	39、46
	「パワーマネージメント」が働かない	□「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときは「パワーマネージメント」は作動しません。	56
	「キャプチャー」が働かない	□ 無信号状態ではないですか？接続および信号を確認してください。	53
		□「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	53
	オートセットアップが正しく作動しない	□ 設定が「オフ」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	51
	プロジェクターを傾けたのにキーストーンが働かない	□「天吊り」が「オン」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	55
		□ リモコンの［AUTO SET］または操作パネルの［AUTO SETUP / CANCEL］ボタンを押してみてください。	28
		□「オートキーストーン」の設定が「手動」になっていませんか？「セッティング」を確認してください。	51

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
その他	インジケータが点滅・点灯している	□「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	71
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号、暗証番号を忘れた	□ お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	53 ～ 54 59 ～ 60
	ボタンを押したのに禁止マーク（！）が表示された	□ プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号を確認してみてください。	—

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード１～５」は含みません。）
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数（Khz）	垂直周波数
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67
480p	-------------	31.47	59.88
575p	-------------	31.25	50.00
480i	-------------	15.734	60.00（インターレース）
575i	-------------	15.625	50.00（インターレース）
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51
MAC16	832 x 624	49.72	74.55
MAC19	1024 x 768	60.24	75.08
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35
XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17（インターレース）
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96（インターレース）
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00

システムモード	解像度	水平周波数（Khz）	垂直周波数
SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00（インターレース）
SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00（インターレース）
SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70（インターレース）
SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
＊ SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SXGA + 1	1400 x 1050	63.970	60.190
SXGA + 2	1400 x 1050	65.350	60.120
SXGA + 3	1400 x 1050	65.120	59.900
MAC21	1152 x 870	68.68	75.06
MAC	1280 x 960	75.00	75.08
MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
WXGA 1	1366 x 768	48.36	60.00
WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00
WXGA 3	1376 x 768	48.36	60.00
WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837
＊ UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00
＊ UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00
＊ UXGA 3	1600 x 1200	87.5	70.00
＊ UXGA 4	1600 x 1200	93.75	75.00
720p	-------------	37.50	50.00
720p	-------------	45.00	60.00
1035i	-------------	33.75	60.00（インターレース）
1080i	-------------	33.75	60.00（インターレース）
1080i	-------------	28.125	50.00（インターレース）

＊「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数（Khz）	垂直周波数
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94
D-480p	-------------	31.47	59.88
D-575p	-------------	31.25	50.00
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00
D-WXGA 1	1366 x 768	48.360	60.00
D-WXGA 2	1360 x 768	47.700	60.00
D-WXGA 3	1376 x 768	48.360	60.00
D-WXGA 4	1360 x 768	56.160	72.000
D-WXGA 5	1366 x 768	46.500	50.000
D-WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870
D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
D-SXGA 1	1280 x 1024	63.98	60.02
D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-SXGA 3	1280 x 1024	31.65	29.8
D-SXGA + 1	1400 x 1050	63.97	60.19
D-720p	-------------	37.50	50.00
D-720p	-------------	45.00	60.00
D-1035i	-------------	33.75	60.00（インターレース）
D-1080i	-------------	33.75	60.00（インターレース）
D-1080i	-------------	28.125	60.00（インターレース）

＜アナログ信号に関するご注意＞

※ 仕様は、改善のため予告なしに変更される場合があります。

※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

※ XGA を越える解像度の信号（SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i）を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。

＜デジタル信号に関するご注意＞

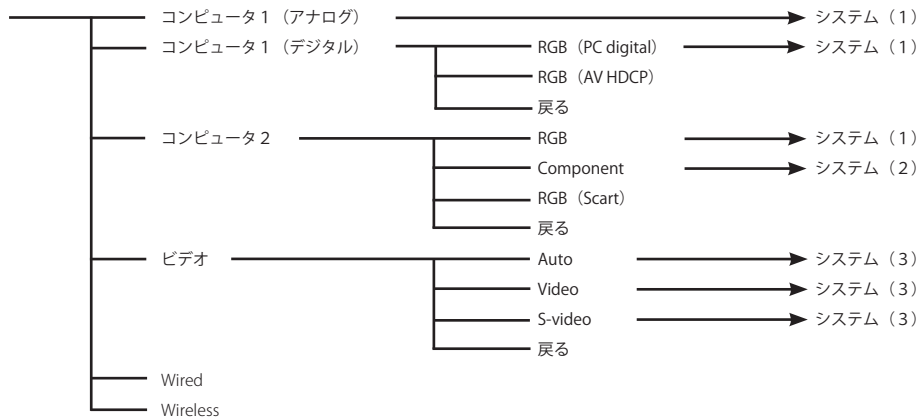
※ 仕様は、改善のため予告なしに変更される場合があります。

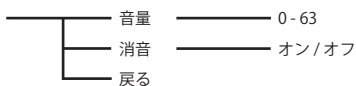
※ ドットクロックが 110MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGA 1、D-SXGA 2、D-SXGA 3、D-SXGA+1 の画像は正しく映らない場合があります。

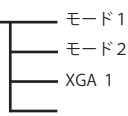
メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ インプット

- インプット
  - コンピュータ 1（アナログ） → システム（1）
  - コンピュータ 1（デジタル）
    - RGB（PC digital） → システム（1）
    - RGB（AV HDCP）
    - 戻る
  - コンピュータ 2
    - RGB → システム（1）
    - Component → システム（2）
    - RGB（Scart）
    - 戻る
  - ビデオ
    - Auto → システム（3）
    - Video → システム（3）
    - S-video → システム（3）
    - 戻る
  - Wired
  - Wireless

サウンド

- サウンド
  - 音量 ― 0 - 63
  - 消音 ― オン / オフ
  - 戻る

コンピュータ入力

SVGA 1

- システム（1）
  - モード 1
  - モード 2
  - XGA 1
  - －－－－－

※ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

- PC 調整
  - 自動 PC 調整
  - トラッキング ― 0 - 31
  - 総ドット数
  - 水平位置
  - 垂直位置
  - コンピュータ情報
    - 水平周波数
    - 垂直周波数
  - クランプ
  - 画面領域 H
  - 画面領域 V
  - リセット ― はい / いいえ
  - データ消去
    - モード 1
    - モード 2
    - モード 3
    - モード 4
    - モード 5
    - 戻る
  - メモリー
    - モード 1
    - モード 2
    - モード 3
    - モード 4
    - モード 5
    - 戻る
  - 戻る

- イメージ選択
  - ダイナミック
  - 標準
  - リアル
  - 黒（緑）板
  - イメージ 1
  - イメージ 2
  - イメージ 3
  - イメージ 4

- イメージ調整
  - コントラスト ― 0 - 63
  - 明るさ ― 0 - 63
  - 色温度 ― 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
  - 赤 ― 0 - 63
  - 緑 ― 0 - 63
  - 青 ― 0 - 63
  - 画質 ― 0 - 15
  - ガンマ補正 ― 0 - 15
  - リセット ― はい / いいえ
  - メモリー
    - イメージ 1
    - イメージ 2
    - イメージ 3
    - イメージ 4
    - 戻る
  - 戻る

- スクリーン
  - ノーマル
  - リアル
  - ワイド
  - フル
  - カスタム
    - スケール H / V
    - H & V オン / オフ
    - ポジション H / V
    - 共通
    - リセット
    - 戻る
  - デジタルズーム＋
  - デジタルズームー

ビデオ入力

Auto

- システム（2）
  - Auto
  - 1080i
  - 1035i
  - 720p
  - 575p
  - 480p
  - 575i
  - 480i

Auto

- システム（3）
  - Auto
  - PAL
  - SECAM
  - NTSC
  - NTSC 4.43
  - PAL-M
  - PAL-N

- イメージ選択
  - ダイナミック
  - 標準
  - シネマ
  - 黒（緑）板
  - イメージ 1
  - イメージ 2
  - イメージ 3
  - イメージ 4

- イメージ調整
  - コントラスト — 0 - 63
  - 明るさ — 0 - 63
  - 色の濃さ — 0 - 63
  - 色合い — 0 - 63
  - 色温度 — 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
  - 赤 — 0 - 63
  - 緑 — 0 - 63
  - 青 — 0 - 63
  - 画質 — 0 - 15
  - ガンマ補正 — 0 - 15
  - ノイズリダクション — オフ / L1 / L2
  - プログレッシブ — オフ / L1 / L2 / フィルム
  - リセット — はい / いいえ
  - メモリー
    - イメージ 1
    - イメージ 2
    - イメージ 3
    - イメージ 4
    - 戻る
  - 戻る

- スクリーン
  - ノーマル
  - ワイド
  - カスタム
    - スケール H/V
    - H&V　オン / オフ
    - ポジション H/V
    - 共通
    - リセット
    - 戻る

セッティング

- セッティング
  - 言語
    - 英語
    - ドイツ語
    - フランス語
    - イタリア語
    - スペイン語
    - ポルトガル語
    - オランダ語
    - スウェーデン語
    - フィンランド語
    - ポーランド語
    - ハンガリー語
    - ルーマニア語
    - ロシア語
    - 中国語
    - 韓国語
    - 日本語
    - 戻る
  - オートセットアップ
    - 自動 PC 調整
    - オートキーストーン
    - 戻る
  - キーストーン — メモリー / リセット
  - ブルーバック — オン / オフ
  - オンスクリーン表示 — オン / カウントダウンオフ / オフ
  - ロゴ
    - ロゴ選択
      - オフ / 初期設定 / ユーザー
    - キャプチャー
      - はい / いいえ
    - ロゴ暗証番号ロック
      - オン / オフ
      - ロゴ暗証番号変更
      - 戻る
    - 戻る
  - 天吊り — オン / オフ
  - リア投映 — オン / オフ
  - 自動入力切換 — オフ / オン 1 / オン 2
  - スタンバイモード — エコ / ノーマル
  - パワーマネージメント
    - オフ / 待機 / シャットダウン
    - 1～30（タイマー：分）
    - 戻る
  - オンスタート — オン / オフ
  - ランプコントロール — オート / 高 / ノーマル / エコ
  - ポインタ
    - スポットライト / ポインタ
    - 戻る
  - リモコンコード — コード 1～8
  - セキュリティ
    - キーロック
      - プロジェクター
      - リモコン
      - オフ
    - 暗証番号ロック
      - オフ / オン 1 / オン 2
      - 暗証番号変更
    - 戻る
  - ファン — L 1 / L 2
  - ファン制御 — オフ / オン 1 / オン 2 / オン 3
  - 警告履歴
  - ランプカウンター
    - 時間（使用時間）
    - リセット
    - 戻る
  - フィルターカウンター
    - 時間（使用時間）
    - タイマー
    - リセット
    - 戻る
  - 初期設定 — はい / いいえ
  - 戻る

仕　様

プロジェクター本体

型　　名	LP-XU115
種　　類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3 枚　3 原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：0.8 型（× 3 枚） アスペクト比 ：4：3 駆動方式：ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ、画素数：786,432 画素（1,024 × 768） 総画素数 ：2,359,296 画素（786,432 × 3 枚）
投映レンズ	1.6 倍ズームレンズ　F= 1.7 ～ 2.5　f= 19.2 ～ 30.2 mm
光　　源	275W NSHA ランプ
画面サイズ（投映距離）	最小 40 型～最大 300 型（0.93m ～ 11.47m）
ズーム / フォーカス調整	手動
映像入力 ・COMPUTER IN 1　DVI-I ・COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN	コンピュータ： DVI 入力（1 系統）：DVI-I コネクター（29 ピン） デジタル：TMDS（Transition Minimized Differential Signaling） アナログ RGB 入力 (1 系統)：ミニ D-sub 15 ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω) コンポーネント： セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、ミニ D-sub 15 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb,Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
映像出力 ・MONITOR OUT	アナログ RGB 出力 (1 系統)：ミニ D-sub 15 ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
映像入力 ・ VIDEO IN S-VIDEO IN	ビデオ入力（1 系統） 映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S 映像：セパレート YC 信号、ミニ DIN 4 ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω
音声入出力 ・AUDIO IN（COMPUTER / COMPONENT,L,R） ・AUDIO OUT	音声入力 (2 系統)：ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 ピンジャック、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ：右) 音声モニター出力（コンピュータ / ビデオ兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、 インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	サービスポート：ミニ DIN 8 ピン USB 端子：USB コネクター (1系統：シリーズ B) LAN 端子：100 Base-TX(100Mbps) / 10 Base-T(10Mbps) / RJ-45 ワイヤード - リモコン端子：ミニジャック SD メモリーカードスロット
走査周波数	水平 15kHz ～ 100kHz、垂直 50 ～ 100Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC / PAL / SECAM / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N)
音声出力	モノラル　1W (JEITA)
スピーカ	2.8 cm　円形 1 個
電　　源	AC100V　50 / 60Hz
消費電力	354W / 9W (待機中消費電力) 280W（ランプ「エコ」モード）
本体寸法	幅 334.0 ×高さ 78.4 ×奥行 257.5 mm（突起を含まず）
質　　量	3.6Kg

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 %以上です。投映中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-I 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-I 端子での再生はできなくなる場合があります。

リモコン

電　　源	DC3.0V　単四形アルカリ乾電池２本使用
到達距離	約 5 m（受信部正面）
本体寸法	幅 45.0mm ×高さ 25.0mm ×奥行 145.0mm
質　　量	99g（電池を含む）
レーザポインタレーザ出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス 2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波　　長：640 ～ 660 nm

付属品

- ■ リモコン（CXYA）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２本
- ■ 電源コード・・・ １本
- ■ 電源プラグアダプタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
- ■ コンピュータケーブル（D-sub 用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １本
- ■ シリアルコントロールケーブル（RS-232C 用）・・・・・・・・・・・ １本
- ■ 取扱説明書・・・ ５冊（本書、別冊４）
- ■ 保証書・・・ １枚
- ■ お客さまご相談窓口一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １枚
- ■ キャリーバッグ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
- ■ レンズキャップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
- ■ レンズキャップ用ひも・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １本
- ■ PIN code lock シール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １枚
- ■ CD-ROM（ネットワークアプリケーション）・・・・・・・・・・・・・・ １枚

別売品

- ■ D-sub / コンポーネント ケーブル ・・・ 品番：POA-CA-COMPVGA
- ■ 天吊金具用ベース金具・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-XU110
- ■ 高天井用天吊金具 ・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-UL01
- ■ 低天井用天吊金具 ・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-US01
- ■ ミニ D-sub 延長 ケーブル（10m）・・・ 品番：KA-MC-DB10
- ■ リモコンケーブル（30m）・・・・・・・・ 品番：POA-MC-RC30

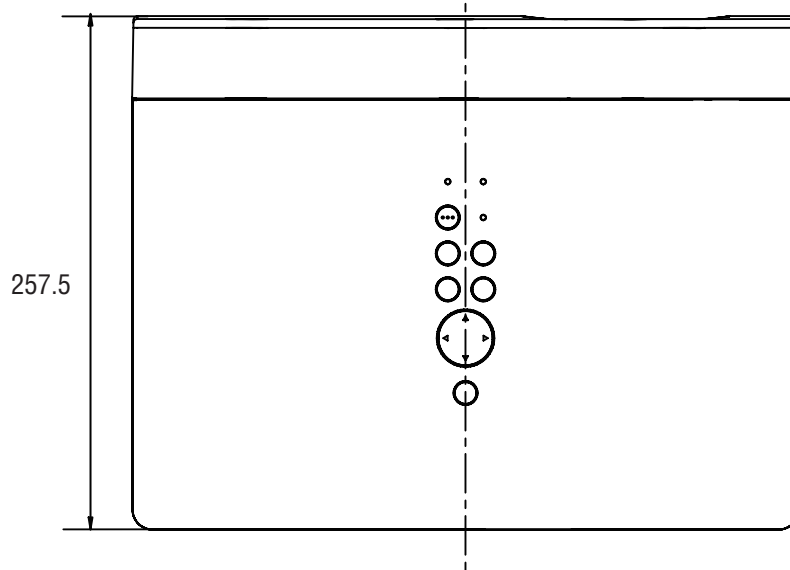
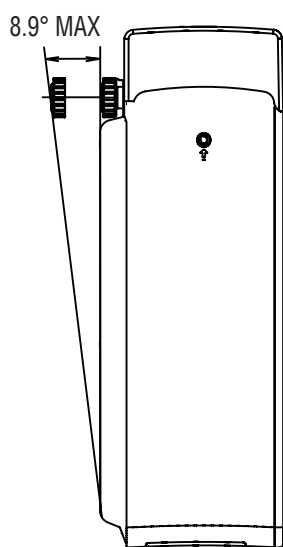
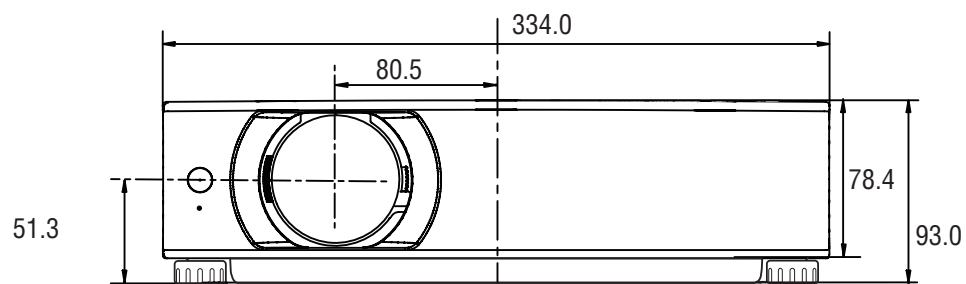
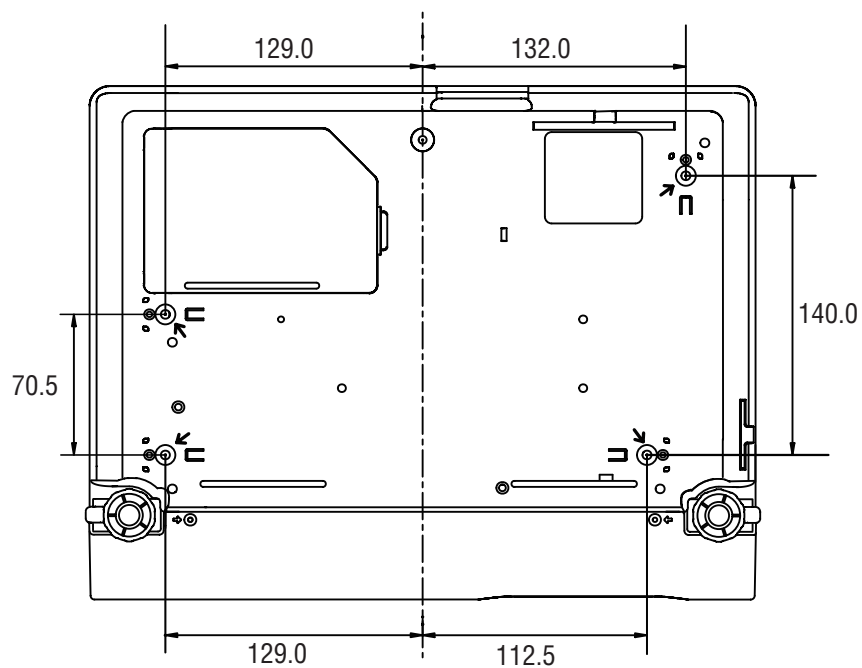
※ このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※ 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm

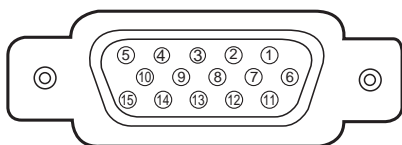
334.0
80.5
78.4
93.0
51.3
8.9° MAX
257.5

➘ 天吊り金具用ねじ穴
ねじ：M4
深さ：12.0

129.0
132.0
140.0
70.5
129.0
112.5

端子の仕様

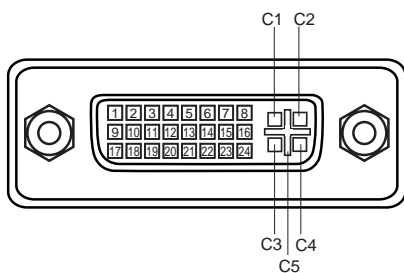
COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT (コンピュータ入力 / コンポーネント入力 / モニター出力端子)

コンピュータ入力、モニター出力端子として動作します。モニター出力は［COMPUTER IN 1 DVI-I］または［COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN］端子に入力されたコンピュータ信号（アナログ）を出力します。接続にはコンピュータケーブル（D-sub 用）をご使用ください。また、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力するときは、別売の D-sub / コンポーネントケーブル をご使用ください。

ミニ D-sub 15 ピン

1	R（R/Cr）入力 / R 出力	9	＋ 5V パワー / 未接続
2	G（G/Y）入力 / G 出力	10	接地（垂直同期）
3	B（B/Cb）入力 / B 出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期・入力のみ）
6	接地（R）	14	垂直同期 入出力
7	接地（G）	15	DDC クロック / 未接続
8	接地（B）		

COMPUTER IN 1 DVI-I (コンピュータ DVI-I 入力端子：デジタル / アナログ)

DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル / アナログ）を接続する DVI-I 端子です。接続には市販の DVI-I 用コンピュータケーブルを使用します。D-sub 出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には、市販の DVI / D-sub 用コンピュータケーブルを使って接続します。

DVI 29 ピン

アナログ コンタクト部

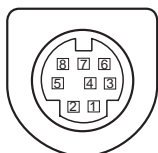
C1	アナログ R ビデオ入力
C2	アナログ G ビデオ入力
C3	アナログ B ビデオ入力
C4	アナログ 水平同期
C5	アナログ RGB 接地

デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2 ー	9	T.M.D.S. データ 1 ー	17	T.M.D.S. データ 0 ー
2	T.M.D.S. データ 2 ＋	10	T.M.D.S. データ 1 ＋	18	T.M.D.S. データ 0 ＋
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	＋ 5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地（＋ 5V）	23	T.M.D.S. クロック ＋
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック ー

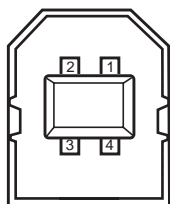
SERVICE PORT（サービス用端子）

サービスマンが使用する端子です。

ミニ DIN 8ピン

1	RXD	5	未接続
2	未接続	6	TXD
3	未接続	7	未接続
4	接地	8	未接続

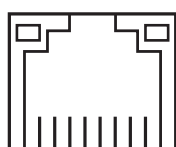
USB（ユニバーサルシリアルバス用端子）

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。（シリーズ B）

USB コネクター（シリーズ B）

1	VCC（5V）
2	－ DATA
3	＋ DATA
4	接地

LAN（ネットワーク接続端子）

有線 LAN 端子を接続します。

LAN コネクター

8 7 6 5 4 3 2 1

1	TX ＋	5	未使用
2	TX －	6	RX －
3	RX ＋	7	未使用
4	未使用	8	未使用

暗証番号について

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： 1 2 3 4*

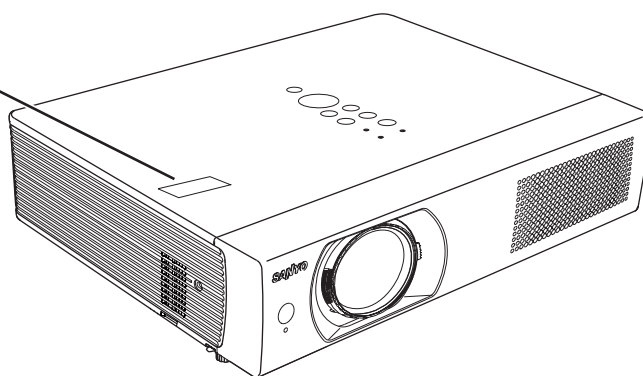
ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号： 4 3 2 1*

※ 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のシールを本体の目立つところに貼り付けます。

WARNING
PIN CODE PROTECTED

PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。 このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

PJ Link で使用するパスワードは、ネットワークのシステムパスワードと同じになっています。
取扱説明書（別冊）の「6．基本操作・設定」→「初期設定をする」→「PJLink 及びパスワードの設定」（49 ページ）をご覧ください。パスワード無しで使用する場合は、「PJLink 及びパスワードの設定」を無しで設定してください。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
コンピュータ 1 （アナログ）		RGB 1	11
コンピュータ 1（デジタル）	RGB（PC digital）	DIGITAL 1	31
	RGB（AV HDCP）	DIGITAL 2	32
コンピュータ 2	RGB	RGB 2	12
	Component	RGB 3	13
	RGB（Scart）	RGB 4	14
ビデオ	Auto	VIDEO 1	21
	Video	VIDEO 2	22
	S-video	VIDEO 3	23
Wired		NETWORK 1	51
Wireless		NETWORK 2	52

PJ Link とは

2003 年 9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。
PJLink はプロジェクターを操作・ 管理するための統一規格です。
メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視･制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。
1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink™

PJLink は JBMIA の登録商標です。

PJLink　サイト URL
http://pjlink.jbmia.or.jp

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間
保証期間はお買い上げ日より 1年間です。
（ただし、ランプは 6ヶ月です）

■保証期間中の修理
保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理
お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に
「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと
- ●お客さまのお名前
- ●ご住所、お電話番号
- ●商品の品番
- ●故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について
この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8年保有しています。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、
お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検　●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品か劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用中止	
	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。	➡	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品　番	LP-XU115
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

デジタルシステムカンパニー
プロジェクター事業部
商品部　商品二課
〒 574-8534　大阪府大東市三洋町 1-1

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

1LG6P1P0275--（KF3CC）